

(様式第10)

新大病医第171号

令和 4年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人新潟大学長 牛木 辰男

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754番地
電話(025)223-6161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	肝胆膵内科	3	腫瘍内科	4	形成・美容外科	5	リハビリテーション科
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64				763	827

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	365	298	537.9
歯科医師	131	97	170.7
薬剤師	59	0	59
保健師	0	0	0
助産師	32	0	32
看護師	819	13	828.6
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	23	3	25.3
管理栄養士	8	0	8

職種	員数
看護補助者	17
理学療法士	15
作業療法士	5
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	23
栄養士	0
歯科技工士	5
診療放射線技師	43

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	60
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	12	
その他の技術員	6	
事務職員	178	
その他の職員	70	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	64	眼科専門医	14
外科専門医	36	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	9	放射線科専門医	18
小児科専門医	25	脳神経外科専門医	17
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	23
泌尿器科専門医	15	麻酔科専門医	23
産婦人科専門医	31	救急科専門医	9
		合計	306

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (富田 善彦) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成31年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)のセンター長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	605.8 人	16.2 人	622.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,625.9 人	568.4 人	2,194.40 人
1日当たり平均調剤数		2900	剤
必要医師数		163	人

必要歯科医師数	32	人
必要薬剤師数	37	人
必要(准)看護師数	410	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	610 ㎡	鉄筋コンクリート	27 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 48 ㎡		病床数	3	床	
	[移動式の場合] 台数 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 116 ㎡					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	403 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト		
細菌検査室	161 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット		
病理検査室	338 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR 装置		
病理解剖室	221 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー		
研究室	755 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等		
講義室	514 ㎡	鉄筋コンクリート	室数 9 室	收容定員	303	人
図書室	99 ㎡	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵書数	5,000	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.1	%	逆紹介率	97.8	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,172		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,282		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,935		人
	D: 初診の患者の数		18,702		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所長	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 信昭	新潟県立がんセンター 新潟病院病院長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計 事務所所長(弁護士, 税理士)		法律に関する識見を有 する者	無	1
西田 眞吾	新潟大学理事(総務・財 務担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	有	2
田代 文俊	新潟大学監事(業務監 査等担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
細胞診検体を用いた遺伝子検査	101
内視鏡的憩室隔壁切開術	1
先進医療の種類合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	102

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	66	先天性副腎皮質酵素欠損症	13
2	筋萎縮性側索硬化症	34	67	先天性副腎低形成症	1
3	脊髄性筋萎縮症	8	68	サルコイドーシス	126
4	進行性核上性麻痺	12	69	特発性間質性肺炎	22
5	パーキンソン病	77	70	肺動脈性肺高血圧症	37
6	大脳皮質基底核変性症	6	71	慢性血栓性肺高血圧症	23
7	ハンチントン病	1	72	リンパ管筋腫症	11
8	シャルコー・マリー・トゥース病	3	73	網膜色素変性症	14
9	重症筋無力症	166	74	バッド・キアリ症候群	3
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	125	75	特発性門脈圧亢進症	5
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチ	24	76	原発性胆汁性肝硬変	45
12	封入体筋炎	2	77	原発性硬化性胆管炎	2
13	クドウ・深瀬症候群	2	78	自己免疫性肝炎	26
14	多系統萎縮症	19	79	クローン病	154
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	65	80	潰瘍性大腸炎	261
16	ライソゾーム病	13	81	好酸球性消化管疾患	1
17	副腎白質ジストロフィー	7	82	慢性特発性偽性腸閉塞症	4
18	ミトコンドリア病	8	83	クリオピリン関連周期熱症候群	1
19	もやもや病	69	84	若年性特発性関節炎旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	8
20	プリオン病	3	85	先天性ミオパチー	1
21	進行性多巣性白質脳症	2	86	筋ジストロフィー	10
22	HTLV-1関連脊髄症	2	87	脊髄空洞症	1
23	全身性アミロイドーシス	27	88	脊髄髄膜瘤	2
24	遠位型ミオパチー	1	89	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	4
25	神経線維腫症	51	90	前頭側頭葉変性症	2
26	天疱瘡	36	91	瘻管重積型(二相性)急性脳症	1
27	表皮水疱症	1	92	限局性皮質異形成	1
28	膿疱性乾癬(汎発型)	18	93	レノックス・ガストー症候群	1
29	高安動脈炎	31	94	スタージ・ウェーバー症候群	1
30	巨細胞性動脈炎	3	95	結節性硬化症	8
31	結節性多発動脈炎	12	96	先天性魚鱗癬	1
32	顕微鏡的多発血管炎	35	97	家族性良性慢性天疱瘡	1
33	多発血管炎性肉芽腫症	32	98	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	35
34	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	22	99	特発性後天性全身性無汗症	4
35	悪性関節リウマチ	8	100	マルファン症候群	7
36	バージャー病	3	101	エーラス・ダンロス症候群	1
37	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	102	ウィルソン病	4
38	全身性エリテマトーデス	345	103	無脾症候群	2
39	皮膚筋炎／多発性筋炎	142	104	ブラダー・ウィリ症候群	1
40	全身性強皮症	109	105	22q11.2欠失症候群	2
41	混合性結合組織病	50	106	修正大血管転位症	1
42	シェーグレン症候群	24	107	三尖弁閉鎖症	3
43	成人スチル病	14	108	ファロー四徴症	2
44	再発性多発軟骨炎	8	109	両大血管右室起始症	2
45	ベーチェット病	80	110	アルポート症候群	1
46	特発性拡張型心筋症	72	111	抗糸球体基底膜腎炎	1
47	肥大型心筋症	22	112	一次性ネフローゼ症候群	31
48	再生不良性貧血	43	113	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
49	自己免疫性溶血性貧血	3	114	紫斑病性腎炎	4
50	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	115	オスラー病	3
51	特発性血小板減少性紫斑病	31	116	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3
52	血栓性血小板減少性紫斑病	4	117	副甲状腺機能低下症	3
53	原発性免疫不全症候群	10	118	偽性副甲状腺機能低下症	3
54	IgA腎症	33	119	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
55	多発性嚢胞腎	48	120	フェニルケトン尿症	2
56	黄色靱帯骨化症	4	121	尿素サイクル異常症	2
57	後縦靱帯骨化症	56	122	ポルフィリン症	1
58	広範脊柱管狭窄症	8	123	脳髄黄色腫症	1
59	特発性大腿骨頭壊死症	106	124	家族性地中海熱	4
60	下垂体性ADH分泌異常症	14	125	慢性再発性多発性骨髄炎	1
61	下垂体性TSH分泌亢進症	2	126	強直性脊椎炎	28
62	下垂体性PRL分泌亢進症	12	127	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
63	クッシング病	10	128	骨形成不全症	1
64	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	36	129	軟骨無形成症	1
65	下垂体前葉機能低下症	126	130	リンパ管腫症/ゴーハム病	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・後発医薬品使用体制加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算
・診療録管理体制加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算	・地域医療体制確保加算
・看護補助加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・療養環境加算	・救命救急入院料3
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・がん治療連携計画策定料
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・糖尿病合併症管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料イ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ハ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ニ	・歯科治療時医療管理料
・外来緩和ケア管理料	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・遺伝学的検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・染色体検査の注2に規定する基準
・腎代替療法指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・一般不妊治療管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・生殖補助医療管理料1	・がんゲノムプロファイリング検査
・二次性骨折予防継続管理料1	・先天性代謝異常症検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来放射線照射診療料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・連携充実加算	・国際標準検査管理加算
・ニコチン依存症管理料	・遺伝カウンセリング加算
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・冠動脈CT撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・胎児心エコー法	・外傷全身CT加算
・ヘッドアップティルト試験	・心臓MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・乳房MRI撮影加算
・神経学的検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・頭部MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・全身MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・肝エラストグラフィ加算
・ロービジョン検査判断料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・コンタクトレンズ検査料1	・外来化学療法加算1
・内服・点滴誘発試験	・無菌製剤処理料
・口腔細菌定量検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・精密触覚機能検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・睡眠時歯科筋電図検査	・がん患者リハビリテーション料
・画像診断管理加算1	・リンパ浮腫複合的治療料
・画像診断管理加算2	・集団コミュニケーション療法料
・画像診断管理加算3	・歯科口腔リハビリテーション料2
・歯科画像診断管理加算1	・認知療法・認知行動療法1
・歯科画像診断管理加算2	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・ポジトロン断層撮影	・医療保護入院等診療料
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	・多血小板血漿処置
・乳房用ポジトロン断層撮影	・硬膜外自家血注入
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・手術用顕微鏡加算	・人工中耳植込術
・口腔粘膜処置	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・歯科技工加算1及び2	・内喉頭筋肉注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・センチネルリンパ節加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・皮膚移植術(死体)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・椎間板内酵素注入療法	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・内視鏡下筋層切開術
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び直腸腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下弁形成術
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的僧帽弁クリップ術	・生体部分肝移植術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・同種死体肝移植術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下痔腫瘍摘出術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下痔体尾部腫瘍切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・同種死体腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・生体腎移植術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・精巣内精子採取術
・経皮的下肢動脈形成術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・体外式模型人工肺管理料
・腹腔鏡下肝切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・歯科矯正診断料
・輸血管理料Ⅱ	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・コーディネート体制充実加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・レーザー機器加算	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・歯科麻酔管理料	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・病理診断管理加算2	・
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・
・口腔病理診断管理加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門:18回 病理診断部門:解剖例 CPC 1回/生検例検討会 17回	
剖検の状況	剖検症例数(例)	8
	剖検率(%)	1.90%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(JST)科学的エビデンスに基づく「フィジカルエイジR」(体力年齢)の確立ならびに社会実装に向けた製品化	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	1,375,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
(JST)食の未来を拓く革新的先端技術の創出に関する国立大学法人新潟大学による研究開発	細島 康宏	病態栄養学講座	1,400,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
水俣病、緑内障におけるコントラスト感度と視覚の質(QOV)の関係	福地 健郎	眼科	3,000,000	補委 新潟県
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムの開発と平衡リハビリトレーニングプログラムの作成 ②臨床研究:慢性めまい診断における自覚的垂直位検査の意義	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,000,000	補委 新潟県
神経再生を誘導する末梢血単核球保護極性獲得の機序	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補委 新潟県
(AMED)「肺非結核性抗酸菌症に対するGM-CSF吸入療法」の開発に向けた特定臨床研究	菊地 利明	呼吸器・感染症内科・心療内科	37,675,300	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)ステロイド全身療法により効果不十分であったスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法	阿部 理一郎	皮膚科	39,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	25,540,000	補委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補委 新潟県
(AMED)ADR-001を用いたChild-Pugh Aの肝硬変患者を対象とした医師主導治験	寺井 崇二	消化器内科	14,821,560	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)培養自家骨膜細胞移植による広範囲顎骨再建の第1相医師主導治験	永田 昌毅	高度医療開発センター	81,967,600	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)TREX1発現制御と老化関連分泌表現型(SASP)に着目した遺伝性脳小血管病:RVCLの病態解明	小野寺 理	脳神経内科	12,350,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第II相試験	小野寺 理	脳神経内科	117,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)網羅的ゲノム解析とインフォマティクス統合解析による認知症の新規病態解析	池内 健	脳神経内科	70,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	児玉 泰光	顎顔面口腔外科	2,400,000	補委 新潟県
(AMED)薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	阿部 理一郎	皮膚科	3,510,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

(AMED)HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	74,001,200	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)ウェアラブルデバイスを用いて“噛む”を行動変容することによる食生活の適正化	小野 高裕	義歯診療科	29,900,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)抗線維化・再生誘導剤の開発:臨床を見据えた肝硬変に対する間葉系幹細胞由来のエクソソームを用いた次世代治療法開発への基盤研究	寺井 崇二	消化器内科	19,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)【近畿大学繰越用】ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第II相試験	小野寺 理	脳神経内科	3,900,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)国際共同研究ネットワークによる家族性アルツハイマー病に関する多元的臨床データ収集とトランスレーショナル研究	池内 健	脳神経内科	13,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)髄液・血液バイオマーカーとAPOE遺伝子開示の検討	池内 健	脳神経内科	390,000	補委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
(AMED)メガリンをターゲットにした急性腎障害および慢性腎臓病の創薬研究	斎藤 亮彦	小児科	8,450,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)新型インフルエンザ等重症呼吸器感染症の臨床・病理学的解析に基づく診断・治療に係る国際連携研究	齋藤 昭彦	小児科	2,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析: J-PRES3	八木原 伸江	高次救命災害治療センター	10,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)認知症層別化のための体液バイオマーカー測定項目及び方法の標準化	池内 健	脳神経内科	5,200,000	補委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
(AMED)進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)血清エクソソーム内細菌・真菌成分のアレルギー疾患発症への関与の解明	阿部 理一郎	皮膚科	19,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)子宮頸癌IB期-II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第III相ランダム化比較試験	榎本 隆之	産科婦人科	65,000	補委	静岡県立静岡がんセンター
(J-DREAMS)電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
(AMED)新生児マススクリーニング対象拡充のための疾患選定基準の確立	齋藤 昭彦	小児科	260,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本 隆之	産科婦人科	972,000	補委	新潟県
低身長を伴った思春期早発症症例における遺伝学的原因および臨床像の検討	長崎 啓祐	小児科	200,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
(AMED)調整費分 メガリンをターゲットにした急性腎障害および慢性腎臓病の創薬研究	斎藤 亮彦	小児科	32,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

医師主導治験AMCAD試験の体制整備事業 (AMCAD試験:患者リクルート)	小野寺 理	脳神経内科	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	425,700	補委	にいがた摂食嚥下障害サポート研究会
パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究 (The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative (通称:J-PPMI))	池内 健	脳神経内科	1,200,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、国立大学法人京都大学、国立大学法人大阪大学、学校法人順天堂、国立大学法人東海国立大学機構
次世代シーケンサーを用いた癌ゲノム医療システム基盤構築に関する研究	若井 俊文	消化器外科	4,570,000	補委	新潟県
シヌクレイノパチー前駆症状に関与する口腔微生物神経毒の定量的検討	小澤鉄太郎	神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
周産期の母親から子への愛着形成に影響を与える精神医学的・産科学的因子の同定	福井直樹	精神科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌発生腺管の3D組織構築と遺伝子解析からの検討	八木一芳	魚沼地域医療教育センター(消化器内科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明	横山純二	第三内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣癌肝転移における直腸間膜リンパ節転移を経由した新たな転移経路の解明	中野雅人	第一外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明	羽入隆晃	第一外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト歯髄の創傷治癒過程におけるM2マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明	吉羽永子	歯の診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼時の情動変化が脳賦活に与える影響	長谷川陽子	義歯診療科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する	真柄仁	摂食嚥下機能回復部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3D画像を用いた新しい口蓋裂咬合評価システムの構築	児玉泰光	顎顔面口腔外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜重層培養系を用いたmTOR阻害剤による口内炎症機序の解明	北村信隆	臨床研究推進センター	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAF)の機能解明	船山昭典	口腔再建外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SOCS3が制御する高脂肪誘発性myeloid hematopoiesisの機序	牛木隆志	輸血・再生・細胞治療センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫に対する代謝リプログラミングおよびmTORを標的とした効果的薬物療法の確立	江田岳誉	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臓器選択的ハイドロダイナミック遺伝子導入法の新規膀胱癌遺伝子治療法への応用	上村顕也	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

心室細動の発症、維持、再発に 関与する解剖学的基盤を 標的とした新たな治療法の開 発	飯嶋賢一	循環器内科	1,430,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
次世代シーケンスを用いた 致死性不整脈の新たな原因 遺伝子の探索	八木原伸江	第一内科	1,040,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
肺MAC症におけるバイオ マーカーCXCL10の有用性につ いて	茂呂寛	感染管理部	1,560,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
血球吸着モデルを用いた LAM患者におけるシロリムス 最適薬用量決定法の提案	田中崇裕	臨床研究推進セン ター	1,170,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
23Na-MRIを用いたネフロー ゼ症候群の病態生理の解析	俣田亮平	腎・膠原病内科	1,170,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
新規リン代謝マーカー:ポリ ン酸と腎臓病で増悪する感染 症の関連	山本卓	腎・膠原病内科	1,560,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
炎症性腸疾患に合併する大 腸癌における遺伝子変異に 基づいた新しい診断・治療 法の確立	中野麻恵	がんゲノム医療セン ター	1,430,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
膵癌患者の免疫微小環境に おける脂質メディエーター分 子の役割と臨床的意義	滝沢一泰	高次救命災害治療セ ンター	1,170,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
成人期脊柱変形の進行メカ ニズム～骨格筋減少に着目 した大規模コホート研究	渡邊慶	整形外科	1,040,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
早産児の消化管成熟に向け た治療戦略:肺サーファクタン トと胎脂を用いた動物実験	西島浩二	総合周産期母子医療 センター	1,560,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
単一細胞シーケンスを用い た卵巣類内膜癌の発症機序 の解明	安達聡介	総合周産期母子医療 センター	1,300,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
生理機能亢進細胞混合移植 とレドックス制御による長期骨 量維持可能な骨増生法開発	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,430,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
顎変形症患者における鼻咽 腔領域における気道形態変 化のシミュレーションモデルの 考案	長谷部大地	口腔再建外科	780,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
外傷歯における神経伝達シ グナルと人為的血流調節によ る歯髄静的幹細胞賦活法の 試み	大島邦子	小児歯科・障がい者 歯科	1,560,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
自発性異常味覚の苦味の正 体にせまる	船山さおり	加齢歯科診療室	1,170,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
子宮内胎児発育不全の発症 予防を目的とした遺伝子多型 と嗜好品摂取との相互作用解 析	能仲太郎	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
同種造血細胞移植の再発率 低下を目指したリハビリテー ション法の確立	柴崎康彦	高密度無菌治療部	1,300,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
小児がん患者のレジリエンス 獲得のプロセス解明と必要と される心理社会的支援の構 築	岩渕晴子	小児科	780,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会
安全で有効かつ、いつでも誰 でも使えるCAR-NK細胞療法 の新規開発	今村勝	小児科	1,040,000	補委	独立行政法 人日本学術 振興会

ALSのTDP-43病理多型を規定する遺伝的因子の探索	石原智彦	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化細胞を標的とした新規アルツハイマー治療の開発	須田将吉	第一内科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外小胞の臓器特異性に着目した視神経脊髄炎関連疾患の再発予測の確立	佐治越爾	神経内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多系統萎縮症の3つの病態を反映し、早期診断を可能とするバイオマーカーの検討と確立	徳武孝允	神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ステロイドホルモンならびにペプチドホルモンによるうつ病難治化機序の解明	鈴木雄太郎	精神科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療における不確かさ要因を考慮した高精度線量評価システムの開発	棚邊哲史	放射線治療科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子導入によるラット胆管癌モデルの確立と浸潤能評価による病態マーカー開発	五十嵐聡	光学医療診療部(消化器内科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HGDラット膵癌モデルのエクソソームプロテオーム解析による膵癌バイオマーカー研究	林和直	消化器内科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
致死的合併症であるIFALD予防を網羅した短腸症候群に対する新規細胞治療の確立	高橋良彰	小児外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌化学放射線療法後の臨床的完全奏効に対する新規サーベイランス方法の確立	島田能史	消化器・一般外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変異シグネチャー解析による固形癌の塩基置換パターン分類の確立及び臨床的意義の解明	廣瀬雄己	第一外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
良悪性中間群骨軟部腫瘍における免疫環境の解析と新規治療法の開発	生越章	魚沼地域医療教育センター準備室(整形外科)	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児腰痛の心理社会的要因および生活の質との関連性に関する研究	平野徹	魚沼地域医療教育センター	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節内の細胞外小胞体による局所恒常性維持の機序解明	目良恒	魚沼地域医療教育センター(整形外科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合腎移植における糖鎖アレイを用いた新規血液型抗体測定法の臨床応用	田崎正行	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん幹細胞と微小環境の相互作用を標的とした婦人科悪性腫瘍の新規治療法の探索	石黒竜也	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機序の解明ー自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与ー	小林哲夫	歯科総合診療科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発	秋葉陽介	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外基質環境下における腫瘍特異的なCD73誘導低酸素応答性増殖機構の解明	丸山智	病理部(歯科担当)・歯科病理検査室	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

費用対効果分析の実用上の問題点に対する統計学理論による解決策の検討	赤澤宏平	医療情報部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
セラミドによる免疫制御機構を応用した膵島移植における膵島生着延長の試み	小林隆	第一外科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用	川口弦	放射線治療科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元画像解析による脊柱靱帯骨化症の骨化進展:骨代謝動態を含めた包括的解析	勝見敬一	整形外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療における照射時間を加味した新たな生物学的線量評価システムの開発	中野永	放射線診断科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
国内におけるパレコウイルスA3の前方視的疫学調査	相澤悠太	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下行性抑制系のセロトニン経路に対するガバベンチンの作用の解明	柳村春江	麻酔科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
形態、アライメント、運動から見た変形性膝関節症の発症、進行メカニズムの解明	望月友晴	整形外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸髄損傷患者における3DAC画像を用いた軸索再生の可視化と臨床機能との相関解析	浦川貴朗	整形外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続性知覚性姿勢誘発めまいの病態解明	八木千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PCSK9は歯周治療効果を評価する新たなバイオロジカルマーカーとなるか?	宮沢春菜	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者における光治療応用はスクレーピング後菌血症による生体応答変化を防げるか?	保莉崇大	総合臨床研修センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特異的分子発現を利用したヒト口唇および赤唇インビトロモデル開発とその有効性の検証	上野山敦士	顎顔面口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立	齋藤大輔	口腔再建外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討ー長期言語成績による分析ー	大湊麗	言語治療室	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍周囲肺のテクスチャ解析を用いた肺癌の新しい予後予測法の確立	山崎元彦	放射線部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における肝細胞内のミトコンドリアDNAコピー数と機能評価	荒生祥尚	第三内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臓器間ネットワークを介したセロトニン発現変化の肝病態マーカーとしての有用性の検証	薛徹	第三内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期再分極による心房性不整脈基質に関する多面的解析と新たな治療戦略の構築	長谷川祐紀	第一内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

反復運動負荷による気道収縮と気道リモデリングのメカニズムについて	月岡啓輔	第二内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Precision Medicineを目指すアトピー性皮膚炎モデルシステムの確立	林良太	皮膚科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グルコシルセラミド分子機構の乳癌免疫微小環境における役割と臨床的意義	諸和樹	消化器外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄X層における慢性疼痛発症過程で生じるシナプス可塑性変化の病態解明	大橋宣子	麻酔科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性痛における脊髄—大脳皮質神経活動連関とグリア細胞活性化制御の影響	番場景子	麻酔科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸部内頸動脈狭窄症におけるプラーク破綻同定のバイオマーカー開発	安藤和弘	脳神経外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KRAS遺伝子変異を有する脳動静脈奇形の病態解明と分子標的治療の確立	齋藤祥二	脳神経外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
海馬硬化症のてんかん原性機構におけるGAP-43のリン酸化解析	岡田正康	脳神経外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペントースリン酸経路を基軸とした卵巣がん幹細胞の治療抵抗性獲得機構の解明	山脇芳	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マウス前庭野の同定と前庭障害後の前庭野の可塑性の評価	小木学	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症喘息を合併する好酸球性副鼻腔炎に対する生物学的製剤の治療効果の検討	新堀香織	総合臨床研修センター	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
副甲状腺の自家蛍光を利用した探索システムの開発	高橋剛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多能性幹細胞から分化誘導した神経オルガノイドによる末梢神経再建	小川和也	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自家培養骨膜を用いた骨欠損、骨露出部の治療戦略に関する基礎研究	浅倉辰則	形成・美容外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期徐放型LDDS製剤としての抗菌ペプチド含有ナノメディシンの機能評価	佐藤圭祐	総合臨床研修センター	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的、定量的品質評価方法の確立	鈴木絢子	小児歯科・障がい者歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代主要切削器具としてのジルコニアドリルの臨床的優位性を多面的に検討する	三谷咲貴	総合臨床研修センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管の偏在による局所的低酸素が歯根膜の線維形成に及ぼす影響の解明	河村篤志	顎関節治療部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜線維の組織化が細胞外微小環境として幹細胞分化に及ぼす影響の解明	井田貴子	冠・ブリッジ診療科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索	江口香里	冠・ブリッジ診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
介護食の摂食嚥下動態に影響を与える摂食嚥下能力の客観的指標の解析	村上和裕	義歯診療科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下顎形成における一次線毛の機能解析ーメッケル軟骨を通してー	永井孝宏	総合臨床研修センター	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立	栗原加奈子	矯正歯科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌とがん関連線維芽細胞の3次元培養による非侵襲的癌浸潤解析モデルの確立	齋藤夕子(原夕子)	顎顔面口腔外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性カンナビノイド機構の中枢性制御に着目した神経障害性疼痛の新規治療戦略	上村藍太郎	矯正歯科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析	中村太	総合臨床研修センター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性高インスリン血症の適切な評価法の確立と本邦2型糖尿病の再分類	松林泰弘	内分泌・代謝内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科治療におけるinvisible technical tipsの科学的分析	佐藤拓実	歯周病科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単球の化学的分化転換を利用した生体内神経再生療法の確立	二宮格	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転移性脳腫瘍放射線治療後の認知機能予測指標の開発	中野智成	放射線診断科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
パレコウイルスA3に対する母乳の抗ウイルス効果の検討	泉田亮平	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PNPLA4機能不全がもたらすミトコンドリア異常症及び乳児突然死の発症機序解明	入月浩美	小児科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝線維化・再生における肝細胞間密着接合の変化とその意義の解明	阿部寛幸	消化器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TTF-1の網羅的エピゲノム解析に基づくEGFR-TKI耐性獲得機序の解明	穂苅諭	呼吸器・感染症内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗CD38抗体でのマクロファージ活性抑制を介した半月体形成糸球体腎炎の治療	大塚忠司	腎・膠原病内科学分野	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の病態解明と新規バイオマーカーの開発	長谷川瑛人	皮膚科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の早期バイオマーカー-galectin-7の迅速診断キットの開発と臨床応用	濱菜摘	皮膚科	3,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
右室心筋におけるヒストン修飾因子「SF3B1」の発現傾向と心不全の可逆性	杉本愛	呼吸器外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

XCL1発現に着目した卵巣成熟嚢胞性奇形腫悪性転化症例に対する新規治療戦略の構築	田村亮	産科婦人科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織選択的統合オミックス解析による子宮内膜症関連卵巣癌の病態解明と新規治療開発	須田一暁	総合周産期母子医療センター	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SIC長繊維と短繊維を組み合わせた力学的等方性を持つ新規繊維強化型レジンの開発	高昇将	予防歯科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証	那小屋公太	摂食嚥下機能回復部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価	兒玉匠平	義歯診療科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咽喉頭酸逆流による嚥下誘発・咀嚼動態の変調およびTRPM8刺激による影響の検証	吉原翠	摂食嚥下機能回復部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索	高岡由梨那	総合臨床研修センター	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食後血糖値に対する咀嚼回数、唾液量およびアミラーゼ活性の影響	上原文子	義歯診療科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討	須田大亮	口腔再建外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか	金丸博子(塚田博子)	歯科麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立	新垣元基	顎顔面口腔外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食具を使用した捕食動作における口腔機能の発達過程を探索	中島努	小児歯科・障がい者歯科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔機能発達不全の“定量化”:エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立	高橋功次朗	矯正歯科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
わが国におけるドラッグラグの現状と課題	田中基嗣	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性肺胞蛋白症の病態におけるIgA型抗GM-CSF自己抗体の関与について	島賢治郎	第二内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃食道逆流による咀嚼・嚥下変調機序の解明	吉原翠	摂食嚥下機能回復部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科金属アレルギーによる乾癬症状増悪・継続機序の解明	高岡由梨那	総合臨床研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
周産期のうつ病や自殺予防のためのオンライン診療システムの構築	橋尻洸陽	総合臨床研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病患者での血糖及び食事・身体活動モニタリングの有効性検証の臨床介入試験	北澤勝	第一内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

脂肪酸代謝を標的とした新たな癌免疫療法の開発	才田優	呼吸器・感染症内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メダカモデルを用いた分子標的薬の副作用の発症予測マーカーと予防法の新規開発	酒井規裕	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規腎近位尿細管細胞マーカーACSM2の機能解明と臨床的有用性の検討	渡辺博文	腎・膠原病内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎病態形成における上皮TRPチャネルタンパクによるレドックス制御機構の解明	都野隆博	高度医療開発センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表面での歯根膜再生を可能とする歯根破折歯修復用接着材料の新規適用法開発	浜谷桂佑	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋におけるエネルギー代謝調節分子を介した歯周炎抑制機能	高見澤圭	歯周病科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞由来エクソソームによる新規骨再生療法の開発	竹内涼子	口腔再建外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞品質が担保された再生医療に用いる口腔粘膜上皮細胞の効率的増殖法の確立	千川絵美	歯周病科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔ビロリ菌は胃がんの原因となるか？磁気ビーズを用いたDNA解析による検索	永田量子	歯の診療科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

合計 177件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Okuda S, Shimada Y, Tajima Y et al.	ゲノム医療部	Profiling of host genetic alterations and intra- tumor microbiomes in colorectal cancer	Comput Struct Biotechnol J. 2021;19:3330-3338	Original Article
2	Yoshida K, Kodama Y, Nishikawa A et al.	顎顔面口腔外科	Comparison between the prophylactic effects of amoxicillin 24 and 48 hours pre-operatively on surgical site infections in Japanese patients with impacted mandibular third molars: A prospective cohort study	J Infect Chemother, 27(6): 845-851, 2021. doi: 10.1016/j.jiac.2021.01.01 8.	Original Article
3	Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M et al.	顎顔面口腔外科	Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma	BBRC 548: 161-166, 2021. doi: org/10.1016/j.bbrc.2021. 02.074	Original Article
4	Kawaharada M, Maruyama S, Abé T et al.	顎顔面口腔外科	Other iatrogenic immunodeficiency- associated lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and literature review	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, S2212-4403(21)00464-8, 2021. doi: 10.1016/j.oooo.2021.05.0 15	Original Article
5	Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y et al.	顎顔面口腔外科	Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case -control study	Oral sci int. 2021. doi: https://doi.org/10.1002/ osi2.1122	Original Article

6	Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H	顎顔面口腔外科	Variations in the venous supply of the floor of the oral cavity: Assessment of relative hemorrhage risk during surgery	Clin Anat, 34(7):1087-1094, 2021	Original Article
7	Yamada E, Takagi R, Moro H et al.	顎顔面口腔外科	Saliva is a suitable alternative to plasma for evaluating pharmacologically active dolutegravir concentration	PLoS One. 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0246994	Original Article
8	Yoshida K, Kodama T, Tanaka Y et al.	顎顔面口腔外科	Pharmacist involved education program in a multidisciplinary team for oral mucositis: Its impact in head-and-neck cancer patients	PLOS ONE, 16(11), 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0260026	Original Article
9	Yamazaki M, Maruyama S, Abe T et al.	顎顔面口腔外科	Spindle cell squamous cell carcinoma exhibiting prominent neutrophil phagocytosis: a case report	Journal of Medical Case Reports, 15. 2021. doi: 10.1186/s13256-021-03066-z	Case report
10	Atsushi Kawamura, Yosuke Akiba, Masako Nagasawa et al.	顎口腔インプラント治療部	Bone heating and implant removal using a high-frequency electrosurgical device. An in vivo experimental study	Clin Oral Implants Res.2021; 32•8:989-997	Original Article
11	Ueki S, Hatase T, Kiyokawa M et al.	眼科	Visual outcome of aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis with maintenance therapy	Jpn J Ophthalmol. 2021 Sep;65•5:699-703.	Original Article

12	Terashima H, Okamoto F, Hasebe H et al.	眼科	Evaluation of postoperative visual function based on the preoperative inner layer structure in the epiretinal membrane	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2021 Nov;259•11:3251–3259.	Original Article
13	Ueki S, Suzuki Y, Kiyokawa M et al.	眼科	Hyperopic anisometropia with a shorter axial length ipsilateral to the ptotic eye in children with congenital ptosis	BMC Ophthalmol. 2021 Oct 9;21•1:358.	Original Article
14	Uehara F, Hori K*, Hasegawa Y et al.	義歯診療科	Impact of masticatory behaviors measured with wearable device on metabolic syndrome: cross sectional study.	JMIR mHealth and Health. 2022 Mar; 10(3):e30789(オンライン)	Original Article
15	Yoshimura S, Hori K*, Uehara F et al.	義歯診療科	Relationship between body mass index and masticatory factors evaluated with a wearable device.	Scientific Reports. 2022 Mar; 8;12(1):4117	Original Article
16	Marito P, Hasegawa Y*, Tamaki K et al.	義歯診療科	The association of dietary intake, oral health, and blood pressure in older adults: a cross-sectional observational study.	Nutrients. 2022 Mar; 17;14(6):1279	Original Article
17	Murakami K, Hori T, Uehara F et al.	義歯診療科	Effect of maximal voluntary tongue pressure and mechanical properties of gels on tongue pressure production when squeezing gels.	Food Hydrocolloids. Mar 2022; 124, Part B, 107323	Original Article

18	Murakami K, Hori K, Yoneda H et al.	義齒診療科	Compatibility of two types of gummy jelly tests for detecting decreased masticatory function.	Gerodontology. 2021 Nov.; 2022;39(1):10-6,	Original Article
19	Kodama S, Fujiwara S, Okawa J et al.	義齒診療科	Modulation of tongue motion and tongue pressure during liquid swallowing with different bolus volumes.	Journal of Oral Rehabilitation. 2021 Nov; 48: 1243-1251,	Original Article
20	Hasegawa Y, Tsuji S, Nagai K et al.	義齒診療科	The relationship between bone density and the oral function in older adults: a cross- sectional observational study.	BMC geriatrics. 2021 Oct; 21(1) 591-591.	Original Article
21	Salazar S, Hasegawa Y, Kikuchi S et al.	義齒診療科	The impact of a newly constructed removable denture on the objective and subjective masticatory function.	Journal of Prosthodontic Research. 2021 Aug.; 65:346-352,	Original Article
22	Fujiwara S, Hori K, Shitara S et al.	義齒診療科	Effect of hard gummy candy chewing on masticatory function.	Journal of Oral Rehabilitation. 2021 Aug; 48:909-915,	Original Article
23	Murakami K, Tokuda Y, Hori K et al.	義齒診療科	Effect of fracture properties of gels on tongue pressure during different phases of squeezing and swallowing.	International Journal of Environmental Research and Public Health. 2021 Jun.; 18: 6620,	Original Article

24	Swanarpa K, Hasegawa Y, Salazar S et al.	義歯診療科	Can masticatory performance be predictor by using food acceptance questionnaire in elderly patients with removable dentures?	Journal of Oral Rehabilitation. 2021 May; 48:582-591,	Original Article
25	Suwabe T, Shibasaki Y, Sato H et al.	血液内科	WT1-specific CD8 + cytotoxic T cells with the capacity for antigen-specific expansion accumulate in the bone marrow in MDS	Int J Hematol. 2021 May;113(5):723-734	Original Article
26	Katagiri T, Uemura S, Ushiki T et al.	血液内科	Distinct effects of chondroitin sulfate on hematopoietic cells and the stromal microenvironment in bone marrow hematopoiesis	Exp Hematol. 2021 Apr;96:52-62.e5	Original Article
27	Fujihara K, Yamada-Harada M, Matsubayashi Y et al.	内分泌・代謝内科	Accuracy of Japanese claims data in identifying diabetes-related complications	Pharmacoepidemiol Drug Saf. 2021 May;30(5):594-601	Original Article
28	Abe T, Matsubayashi Y, Muragishi S et al.	内分泌・代謝内科	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, anagliptin, alters hepatic insulin clearance in relation to the glycemic status in Japanese individuals with type 2 diabetes	J Diabetes Investig. 2021 Oct;12(10):1805-1815	Original Article
29	Kaneko M, Fujihara K, Harada MY et al.	内分泌・代謝内科	Rates and risk factors for amputation in people with diabetes in Japan: a historical cohort study using a nationwide claims database	J Foot Ankle Res. 2021 Apr 9;14(1):29	Original Article

30	Yamada HM, Fujihara K, Kodama S et al.	内分泌・代謝内科	Associations of Systolic Blood Pressure and Diastolic Blood Pressure With the Incidence of Coronary Artery Disease or Cerebrovascular Disease According to Glucose Status	Diabetes Care. 2021 Sep;44(9):2124-2131	Original Article
31	Kodama S, Horikawa C, Fujihara K et al.	内分泌・代謝内科	Meta-analytic research of the dose-response relationship between salt intake and risk of heart failure	Hypertens Res. 2021 Jul;44(7):885-887	Original Article
32	Matsubayashi Y, Yoshida A, Suganami H et al.	内分泌・代謝内科	Association of estimated plasma volume and weight loss after long-term administration and subsequent discontinuation of the sodium-glucose cotransporter-2 inhibitor tofogliflozin	Diabetes Obes Metab. 2021 Jul;23(7):1660-1665	Original Article
33	Suwabe T, Fuse K, Katsura K et al.	血液内科	Intensive oral care can reduce bloodstream infection with coagulase-negative staphylococci after neutrophil engraftment in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation	Support Care Cancer. 2022 Jan;30(1):475-485	Original Article
34	Hinata Y, Ohara N, Komatsu T et al.	内分泌・代謝内科	Central Diabetes Insipidus after Syndrome of Inappropriate Antidiuretic Hormone Secretion with Severe Hyponatremia in a Patient with Rathke's Cleft Cyst	Intern Med. 2022 Jan 15;61(2):197-203	Case report
35	Takizawa J, Izutsu K, Nagai H et al.	血液内科	Real World Treatment Practices for Chronic Lymphocytic Leukemia in Japan: An Observational Database Research Study (CLIMBER-DBR)	J Clin Exp Hematop. 2021 Sep 10;61(3):126-134	Original Article

36	Cho K, Ushiki T, Ishiguro H et al.	内分泌・代謝内科	Altered microbiota by a high-fat diet accelerates lethal myeloid hematopoiesis associated with systemic SOCS3 deficiency	iScience. 2021 Sep 11;24(10):103117(オンライン)	Original Article
37	Takeda Y, Fujihara K, Nedachi R et al.	栄養管理部	Comparing Associations of Dietary Energy Density and Energy Intake, Macronutrients with Obesity in Patients with Type 2 Diabetes (JDDM 63)	Nutrients. 2021 Sep 11;13(9):3167(オンライン)	Original Article
38	Fujihara K, Nogawa S, Saito K et al.	内分泌・代謝内科	Carrot Consumption Frequency Associated with Reduced BMI and Obesity through the SNP Intermediary rs4445711	Nutrients. 2021 Sep 30;13(10):3478(オンライン)	Original Article
39	Suzuki H, Watanabe K, Arumugam S et al.	内分泌・代謝内科	Meal Ingestion of Ceraceomyces tessulatus Strain BDM-X (Agaricomycetes) Protects against Nonalcoholic Steatohepatitis in Mice	Int J Med Mushrooms. 2022;24(1):41-52.	Original Article
40	Suguru Yamamoto, Brian A Bieber, Hirotaka Komaba et al.	血液浄化療法部	Medical Director Practice of Advising Increased Dietary Protein Intake in Hemodialysis Patients With Hyperphosphatemia: Associations With Mortality in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study	J Ren Nutr . 2022 Mar;32(2):243-250.	Original Article
41	Hayashi M, Hokari S, Aoki N et al.	呼吸医・感染症内科	A case of bronchiolitis obliterans after living-donor renal transplantation	Respir Investig2021 May;59(3):367-371.	Case report

42	Moro H, Kikuchi T.	呼吸医・感染症内科	Clinical Aspects of Pulmonary Nontuberculous Mycobacteriosis	Intern Med2022 Jan 1;61(1):23-27	Review
43	Kimura Y, Ito R, Hayashi Y, Kazawa T et al.	呼吸医・感染症内科	A case of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis showing multiple white lichen lesions on the airway mucosa	. Respir Med Case Rep2021 Jun 29;33:101451. doi: 10.1016/j.rmcr	Case report
44	Bamba Y, Nagano K, Moro H et al.	呼吸医・感染症内科	Efficacy of the new beta-D-glucan measurement kit for diagnosing invasive fungal infections, as compared with that of four conventional kits	PLoS One2021 Aug 26;16(8):e0255172..	Original Article
45	Nozaki K, Watanabe S, Nishio K et al.	呼吸医・感染症内科	Effectiveness of afatinib in an NSCLC patient with EGFR mutation and early progression to osimertinib: a case report	Transl Cancer Res2022 Jan;11(1):295-298.	Case report
46	Ichikawa K, Watanabe S, Miura S et al.	呼吸医・感染症内科	Prognostic significance of procalcitonin in small cell lung cancer.	Transl Lung Cancer Res2022 Jan;11(1):43-52.	Original Article
47	Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita et al.	摂食嚥下機能回復部	Chewing modulates the human cortical swallowing motor pathways.	Physiol Behav. 2022 May 15;249:113763.	Original Article

48	Wataru K, Ryoko T, Naoaki S et al.	口腔再建外科	Migration and phenotype switching of macrophages at early- phase of bone formation by secretomes from bone marrow derived mesenchymal stem cells using rat calvaria bone defect model.	Journal of Dental Sciences. 2022 Jan; 17: 1: 421-429.	Original Article
49	Ryoko T, Akinori F, Yohei O et al.	口腔再建外科	Melanotic neuroectodermal tumor of infancy in the mandible A case report.	Medicine. 2021Dec; 100: 50: e28001. (オンライン)	Case report
50	Wataru K, Daisuke S, Daichi H et al.	口腔再建外科	The prosthodontic recovery of the damaged external hexagon due to improper implant position. A case report	Advances in Oral and Maxillofacial Surgery. 2021Oct; 4: 100184.(オン ライン)	Case report
51	Hidenobu S, Daishuke S, Taichi H et al.	口腔再建外科	Evaluation of masticatory efficiency in patients with jaw deformities using the gummy jelly method.	Advances in Oral and Maxillofacial Surgery. 2021Oct; 4: 100166.(オン ライン)	Original Article
52	Wataru K, Kosuke H, Naoaki S et al.	口腔再建外科	Maxillary sinus aspergillosis associated with migration of a dental implant: A case report.	Advances in Oral and Maxillofacial Surgery. 2021Oct; 4: 100157.(オン ライン)	Case report
53	Yusuke K, Naoaki S, Kanae N et al.	口腔再建外科	A comparison and evaluation of the use of ultrasonic cutting devices with conventional powered instruments in orthognathic surgery.	Advances in Oral and Maxillofacial Surgery. 2021Apr; 2: 100081.(オン ライン)	Original Article

54	Yoshihara N, Edanami N, Ohkura N et al.	歯の診療科	Laminin Isoforms in Human Dental Pulp: Lymphatic Vessels Express Laminin-332, and Schwann Cell-Associated Laminin-211 Modulates CD163 Expression of M2-like Macrophages.	Laminin Isoforms in Human Dental Pulp: Lymphatic Vessels Express Laminin-332, and Schwann Cell-Associated Laminin-211 Modulates CD163 Expression of M2-like Macrophages.	Original Article
55	Takenaka S, Edanami N, Komatsu Y et al.	歯の診療科	Periodontal pathogens inhabit root caries lesions extending beyond the gingival margin: a next-generation sequencing analysis.	Periodontal pathogens inhabit root caries lesions extending beyond the gingival margin: a next-generation sequencing analysis.	Original Article
56	Maki Sotozono, Nanako Kuriki, Yoko Asahi et al.	歯の診療科	Impact of sleep on the microbiome of oral biofilms.	Impact of sleep on the microbiome of oral biofilms.	Original Article
57	Edanami N, Belal RSI, Takenaka S et al.	歯の診療科	Apatite-forming ability of flowable vs. putty formulations of newly developed bioactive glass-containing endodontic cement.	Apatite-forming ability of flowable vs. putty formulations of newly developed bioactive glass-containing endodontic cement.	Original Article
58	Maruyama S, Mori T, Yamazaki M et al.	病理部	Central mucoepidermoid carcinoma arising directly from a glandular odontogenic cyst of the mandible: a case report.	Diagn Pathol. 2021 Jul 11;16(1):61.	Case report
59	Yamazaki M, Maruyama S, Abé T et al.	病理部	Spindle cell squamous cell carcinoma exhibiting prominent neutrophil phagocytosis: a case report.	J Med Case Rep. 2021 Aug 27;15(1):438.	Case report

60	Kishimoto N, Nguyen BH, Tran SD et al.	齒科麻醉科	Telesimulation training applying flipped classroom in the dental clinic for medical emergencies.	Dental Anesthesia and Pain Medicine. 2021;21(2):179-181.	Original Article
61	Kishimoto N, Otsuka A, Tsurumaki T et al.	齒科麻醉科	Unexpected Anesthetic Circuit Leak Attributed to Improper Use of a Tube Holder	Anesthesia Progress. 2021;68(3):154-157.	Case report
62	Takahashi K, Morita Y, Ogi M et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Optimal Diagnostic Criteria and a Staging System for Otogenic Skull Base Osteomyelitis	J Neurol Surg B Skull Base. 2021 Jul 16;83(Suppl 2):e484-e491	Case report
63	Shodo R, Yamazaki K, Ueki Y et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sarcopenia predicts a poor treatment outcome in patients with head and neck squamous cell carcinoma receiving concurrent chemoradiotherapy	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2021 Jun;278(6):2001-2009	Original Article
64	Takahashi T, Yamazaki K, Ota H et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Near-Infrared Fluorescence Imaging in the Identification of Parathyroid Glands in Thyroidectomy	Laryngoscope. 2021 May;131(5):1188-1193	Original Article
65	Hiroshima S, Nyuzuki H, Sasaki S et al.	小児科	Regulation of Serum Sodium Levels during Chemotherapy Using Selective Arginine Vasopressin V2-Receptor Antagonist Tolvaptan in a Four-Year-Old Girl with a Suprasellar Germ Cell Tumor	Children (Basel). 2021 Apr 10;8(4):293	Case report

66	Nagasaki K, Sato H, Sasaki S et al.	小児科	Re-Evaluation of the Prevalence of Permanent Congenital Hypothyroidism in Niigata, Japan: A Retrospective Study	Int J Neonatal Screen. 2021 May 28;7(2):27.	Original Article
67	Onuki T, Ohtsu Y, Hiroshima S et al.	小児科	Two cases of cytochrome P450 oxidoreductase deficiency with severe scoliosis and surgery requirement.	Congenit Anom (Kyoto). 2021 Sep;61(5):202-203.	Case report
68	Shibata N, Nyuzuki H, Sasaki S et al.	小児科	Peripheral precocious puberty in a girl with an intracranial hCG-producing tumor: case report and literature review.	Endocr J. 2021 Dec 28;68(12):1463-1467.	Case report
69	Onuki T, Shibata N, Hiroshima S et al.	小児科	Japanese family with a heterozygous novel mutation in the Indian hedgehog gene exhibiting a broad spectrum of clinical features and radiological findings.	Congenit Anom (Kyoto). 2022 Jan;62(1):47-48.	Case report
70	Hiroshima S, Ueki Y, Yamazaki K et al.	小児科	Graves' disease in children: an enlarged goitre causes severe tracheal stenosis.	BMJ Case Rep. 2021 Nov 1;14(11):e246906.	Others
71	Ono M, Tanaka M, Hiroshima S et al.	小児科	Diagnosis of Chromosome 15q-Terminal Deletion Syndrome through Elevated Fasting Serum Growth Hormone Levels	Endocrines. 2022; 3(1):92-99.	Case report

72	Murayama Y, Kawashima H, Kubo N et al.	小児科	Effectiveness of 4-1BB-costimulated HER2-targeted chimeric antigen receptor T cell therapy for synovial sarcoma.	Transl Oncol. 2021 Dec;14(12):101227.	Original Article
73	Baba M, Imamura M, Imai C.	小児科	Newly diagnosed ETV6-RUNX1-positive B-acute lymphoblastic leukemia localized to the left pelvic bone marrow.	Int J Hematol. 115(2):151-152, 2022.	Others
74	Aizawa Y, Katsuta T, Sakiyama H et al.	小児科	Changes in Childhood Vaccination During the Coronavirus Disease 2019 Pandemic in Japan.	Vaccine. 2021 Jun 29;39(29):4006-4012.	Original Article
75	Aizawa Y, Shobugawa Y, Tomiyama N et al.	小児科	Coronavirus Disease 2019 Cluster Originating in a Primary School Teachers' Room in Japan	Pediatr Infect Dis J. 2021 Nov 1;40(11):e418-e423	Original Article
76	Saitoh A, Okabe N	小児科	Changes and remaining challenges for the Japanese immunization program: Closing the vaccine gap	Vaccine. 2021 May 21;39(22):3018-3024.	Review
77	Ikuse T, Aizawa Y, Takahara H et al.	小児科	Development of Novel PCR Assays for Improved Detection of Enterovirus D68	J Clin Microbiol. 2021 Oct 19;59(11):e0115121	Original Article

78	Inaba S, Aizawa Y, Miwa Y et al.	小児科	Case Report: Analysis of Preserved Umbilical Cord Clarified X-Linked Anhidrotic Ectodermal Dysplasia With Immunodeficiency in Deceased, Undiagnosed Uncles	Front Immunol. 2021 Dec 22;12:786164.	Case report
79	Tachikawa J, Aizawa Y, Izumita R et al.	小児科	Resolution of <i>Pediococcus acidilactici</i> bacteremia without antibiotic therapy in a 16-year-old adolescent with leukemia receiving maintenance chemotherapy	IDCases. 2022 Jan 6;27:e01384.	Case report
80	Tachikawa J, Aizawa Y, Ikuse T et al.	小児科	Changes in Exanthema Subitum Incidence and Patient Age Distribution During the COVID-19 Pandemic in Japan	Pediatr Infect Dis J. 2022 Mar 1;41(3):e90-e92.	Original Article
81	Saito K, Kinoshita Y, Takahashi Y et al.	小児外科	Usefulness of the Monti-Malone procedure as a reconstruction of the antegrade continence enema procedure: a case report	Surg Case Rep. 2021 May 6;7(1):112	Case report
82	Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Sano H et al.	小児歯科・障がい者歯科	The effects of reducing the root length by apicoectomy on dental pulp revascularization following tooth replantation in mice	Dent Traumatol. 2021 Oct;37(5):677-90	Original Article
83	Nogami Y, Saitoh I, Inada E et al.	小児歯科・障がい者歯科	Lip-closing strength in children is enhanced by lip and facial muscle training.	Clin Exp Dent Res. 2022 Feb;8(1):209-16	Original Article

84	Nakamura Y, Hanasaki M, Sano T et al.	小児歯科・障がい者歯科	Oral function and feeding management in a child with alpha thalassemia X-linked intellectual disability syndrome.	J Dent Child (Chic). 2021 Sep;15;88(3):206-9	Case report
85	Sasakawa Y, Nakamura Y, Saitoh I et al.	小児歯科・障がい者歯科	Lip-closing pressure during food intake from a spoon in normal children.	J Oral Rehabil. 2021 Jun;48(6):711-9	Original Article
86	Sakata J, Hirose Y, Prasoon P et al.	消化器・一般外科	Clinicopathological Characteristics and Surgical Outcomes of Primary Cystic Duct Carcinoma: A Multi-institutional Study	World J Surg. 2021 May;45:1613-5	Original Article
87	Miura K, Nagahashi M, Prasoon P et al.	消化器・一般外科	Dysregulation of sphingolipid metabolic enzymes leads to high levels of sphingosine-1-phosphate and ceramide in human hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2021 May;51:614-26	Original Article
88	Yuza K, Sakata J, Hirose Y et al.	消化器・一般外科	Outcome of radical surgery for gallbladder carcinoma according to TNM stage: implications for adjuvant therapeutic strategies	Langenbecks Arch Surg. 2021 May;406:801-11	Original Article
89	Shimada Y, Okuda S, Watanabe Y et al.	消化器・一般外科	Histopathological characteristics and artificial intelligence for predicting tumor mutational burden-high colorectal cancer	J Gastroenterol. 2021 Jun;56:547-59	Original Article

90	Sakai T, Ichikawa H, Hanyu T et al.	消化器・一般外科	Accuracy of the endoscopic evaluation of esophageal involvement in esophagogastric junction cancer	Ann Med Surg (Lond). 2021 Jul;68:102590	Original Article
91	Ando T, Sakata J, Nomura T et al.	消化器・一般外科	Anatomic location of residual disease after initial cholecystectomy independently determines outcomes after re-resection for incidental gallbladder cancer	Langenbecks Arch Surg. 2021 Aug;406:1521-32	Original Article
92	Sakata J, Nomura T, Aono T et al.	消化器・一般外科	Oncological outcomes of surgery for recurrent biliary tract cancer: who are the best candidates?	HPB (Oxford). 2021 Sep;23:1371-82	Original Article
93	Yuza K, Nagahashi M, Ichikawa H et al.	消化器・一般外科	Activin a Receptor Type 2A Mutation Affects the Tumor Biology of Microsatellite Instability-High Gastric Cancer	J Gastrointest Surg. 2021 Sep;25:2231-41	Others
94	Shimada Y, Tanaka K, Nishino K et al.	消化器・一般外科	ASO Author Reflections: Clinical Significance of Mesenteric Lymph Node Involvement in Patients with Ovarian Cancer	Ann Surg Oncol. 2021 Nov;28:7614-15	Original Article
95	Tanaka K, Shimada Y, Nishino K et al.	消化器・一般外科	Clinical Significance of Mesenteric Lymph Node Involvement in the Pattern of Liver Metastasis in Patients with Ovarian Cancer	Ann Surg Oncol. 2021 Nov;28:7606-13	Original Article

96	Ikarashi M, Tsuchida J, Nagahashi M et al.	消化器・一般外科	Plasma Sphingosine-1- Phosphate Levels Are Associated with Progression of Estrogen Receptor-Positive Breast Cancer	Int J Mol Sci. 2021 Dec;22:13367	Original Article
97	Kano Y, Ohashi M, Muneoka Y et al.	消化器・一般外科	Different risk factors for three major recurrence patterns of pathological stage II or III gastric cancer patients who completed adjuvant S-1 monotherapy	Eur J Surg Oncol. 2021 Dec;47:3097-104	Original Article
98	Muneoka Y, Ohashi M, Ishizuka N et al.	消化器・一般外科	Risk factors and oncological impact of positive resection margins in gastrectomy for cancer: are they salvaged by an additional resection?	Gastric Cancer. 2022 Jan;25:287-96	Original Article
99	Miura K, Kobayashi T, Zhang Z et al.	消化器・一般外科	Establishment of a Long-Term Survival Swine Model for the Observation of Transplanted Islets: a Preliminary Step in an Allogeneic Transplant Experiment	Transplant Proc. 2022 Mar;54:507-12	Case report
100	Miura K, Kobayashi T, Ishikawa H et al.	消化器・一般外科	Incisional Hernia Repaired Using Thigh Muscle Fascia After Kidney Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. 2022 Mar;54:533-36	Case report
101	Sato H, Kamimura K, Matsui H et al.	消化器内科	Esophageal High- Resolution Manometry for Diagnosing the Severity of the Chronic Intestinal Pseudo- Obstruction: A Case Series	Dig Dis Sci. 2021 Nov;66(11):3960-3967.	Original Article

102	Kimura N, Tsuchiya A, Oda C et al.	消化器内科	Visceral Adipose Tissue Index and Hepatocellular Carcinoma Are Independent Predictors of Outcome in Patients with Cirrhosis Having Endoscopic Treatment for Esophageal Varices	Dig Dis. 2021;39(1):58-65. doi: 10.1159/000508867. Epub 2020 May 25.	Original Article
103	Ikarashi S, Hayashi K, Terai S.	消化器内科	Choledochocoele observed on direct peroral cholangioscopy using an ultra-slim endoscope	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Nov;28(11):e49-e51.	Case report
104	Shibata O, Kamimura K, Ko M et al.	消化器内科	Effect of Lenvatinib on a Hepatocellular Carcinoma with Fibroblast Growth Factor Receptor 4 Expression: A Case Report and Review of the Literature	Intern Med. 2021 Jun 1;60(11):1709-1715.	Review
105	Watanabe Y, Osaki A, Waguri N et al.	消化器内科	The first case of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration and partial splenic embolization for gastric varices in situs inversus abdominus	Clin J Gastroenterol. 2021 Apr;14(2):656-661. doi: 10.1007/s12328-020-01332-z. Epub 2021 Jan 5.	Case report
106	Oda C, Tsuchiya A, Kimura A et al.	消化器内科	Immunoglobulin therapy for successful management of prolonged, recurrent jaundice in a young adult male with combined immunodeficiency	Clin J Gastroenterol. 2021 Aug;14(4):1197-1201.	Case report
107	Sato H, Terai S, Shimamura Y et al.	消化器内科	Achalasia and esophageal cancer: a large database analysis in Japan	J Gastroenterol. 2021 Apr;56(4):360-370. doi: 10.1007/s00535-021-01763-6. Epub 2021 Feb 4	Original Article

108	Morita S, Takada T, Ohashi K et al.	消化器内科	Tuberculous Spondylitis in a Woman without Pulmonary Lesions	Intern Med. 2021 Jul 1;60(13):2157-2158.	Case report
109	Kamimura H, Kimura A, Terai S.	消化器内科	Potential Effect of a Selective Peroxisome Proliferator-activated Receptor Alpha Modulator on Metabolic Dysfunction-associated Fatty Liver Disease	Intern Med. 2021 Jul 15;60(14):2165-2166.	Letter
110	Kimura N, Takamura M, Takeda N, et al.	消化器内科	Paris II and Rotterdam criteria are the best predictors of outcomes in patients with primary biliary cholangitis in Japan	Hepato Int. 2021 Apr;15(2):437-443. doi: 10.1007/s12072-021- 10163-0. Epub 2021 Apr 16.	Original Article
111	Motegi S, Yokoo T, Nozawa R et al.	消化器内科	Long-term survival of 11 years with multidisciplinary therapy for hepatocellular carcinoma metastasis to the ovary and peritoneum: a case report	Clin J Gastroenterol. 2021 Aug;14(4):1211-1220. doi: 10.1007/s12328-021- 01434-2. Epub 2021 May 12.	Case report
112	Nakano O, Kawai H, Kobayashi T et al.	消化器内科	Rapid decline in visceral adipose tissue over 1 month is associated with poor prognosis in patients with unresectable pancreatic cancer	Cancer Med. 2021 Jul;10(13):4291-4301.	Original Article
113	Takatsuna M, Azumi R, Mizusawa T et al.	消化器内科	A case of Helicobacter pylori -negative early gastric adenocarcinoma with gastrointestinal phenotype	Endosc Int Open. 2021 Jun;9(6):E863-E866. doi: 10.1055/a-1396-3854. Epub 2021 May 27.	Original Article

114	Sato T, Tsuchiya A, Owaki T et al.	消化器内科	Severe steatosis and mild colitis are important for the early occurrence of hepatocellular carcinoma	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Aug 20;566:36-44.	Original Article
115	Ogawa K, Sato H, Ikarashi S et al.	消化器内科	Biliary Obstruction Caused by B-Cell Lymphoma Associated With IgG4-Related Disease	Am J Gastroenterol. 2021 Nov 1;116(11):2166.	Case report
116	Tominaga K, Tsuchiya A, Nakano O et al.	消化器内科	Increase in muscle mass associated with the prebiotic effects of 1- kestose in super-elderly patients with sarcopenia	Biosci Microbiota Food Health. 2021;40(3):150- 155. doi: 10.12938/bmfh.2020-063. Epub 2021 Feb 20.	Original Article
117	Suda T, Yoshikawa S, Kanefuji T et al.	消化器内科	Suppression of Noncoding RNAs as Shared Early Genetic Events in Multistep Hepatocarcinogenesis	Hepatology. 2021 Jul 29. doi: 10.1002/hep.32077. Online ahead of print.	Case report
118	Kamimura K, Terai S.	消化器内科	The promise of radiotherapy for hepatocellular carcinoma	Hepatology. 2021 Aug;51(8):837-838. doi: 10.1111/hepr.13687.	Review
119	Watanabe Y, Hayashi K, Terai S.	消化器内科	A Rare Case of Ulcerative Colitis with Severe Pneumocystis jirovecii Pneumonia and Cytomegalovirus Colitis: A Case Report and Literature Review	Intern Med. 2022 Feb 1;61(3):339-344. doi: 10.2169/internalmedicine. 7953-21. Epub 2021 Aug 6.	Review

120	Sakamaki A, Kamimura K, Yokoo T et al.	消化器内科	The prognosis and incidence of hepatic encephalopathy of patients with liver cirrhosis treated with proton pump inhibitors: A multicenter retrospective study in Japan	Medicine (Baltimore). 2021 Aug 13;100(32):e26902. doi: 10.1097/MD.00000000000026902.	Original Article
121	Iwasawa T, Nojiri S, Tsuchiya A et al.	消化器内科	Combination therapy of Juzentaihoto and mesenchymal stem cells attenuates liver damage and regresses fibrosis in mice	Regen Ther. 2021 Jul 29;18:231-241.	Original Article
122	Kamimura H, Sano M, Tsujimura T et al.	消化器内科	Rapid Onset of Weight Gain and Liver Dysfunction Successfully Treated With Nutrition and Exercise	Cureus. 2021 Jul 21;13(7):e16530.	Case report
123	Terai S, Tsuchiya A, Watanabe Y et al.	消化器内科	Transition of clinical and basic studies on liver cirrhosis treatment using cells to seek the best treatment	Inflamm Regen. 2021 Sep 16;41(1):27.	Review
124	Nojiri S, Tsuchiya A, Natsui K et al.	消化器内科	Synthesized HMGB1 peptide attenuates liver inflammation and suppresses fibrosis in mice	Inflamm Regen. 2021 Sep 27;41(1):28. doi: 10.1186/s41232-021-00177-4.	Original Article
125	Takeda N, Tsuchiya A, Natsui K et al.	消化器内科	Novel Strategy for Diagnosis of Focal Nodular Hyperplasia Using Gadolinium Ethoxybenzyl Diethylenetriaminepenta acetic Acid: Enhanced Magnetic Resonance Imaging and Magnetic Resonance Elastography	Case Rep Gastroenterol. 2021 Jun 10;15(2):507-512. doi: 10.1159/000516552. eCollection 2021 May-Aug.	Case report

126	Ohkoshi-Yamada M, Kamimura K, Kamimura H et al.	消化器内科	Rare complication of hepatocellular carcinoma in Wilson's disease	JGH Open. 2021 Aug 27;5(10):1220-1222.	Case report
127	Koseki Y, Kamimura K, Tanaka Y et al.	消化器内科	Rapid progression of colonic mucinous adenocarcinoma with immunosuppressive condition: A case report and review of literature	World J Clin Cases. 2021 Oct 26;9(30):9182-9191. doi: 10.12998/wjcc.v9.i30.9182.	Case report
128	Kamimura H, Nonaka H, Mori M et al.	消化器内科	Use of a Deep Learning Approach for the Sensitive Prediction of Hepatitis B Surface Antigen Levels in Inactive Carrier Patients	J Clin Med. 2022 Jan 13;11(2):387. doi: 10.3390/jcm11020387.	Original Article
129	Niwa Y, Tominaga K, Kawata Y et al.	消化器内科	Intestinal duplication diagnosed preoperatively with double-balloon enteroscopy: an extremely rare case report and literature review	Clin J Gastroenterol. 2022 Jan 22. doi: 10.1007/s12328-022-01596-7.	Case report
130	Motegi S, Tsuchiya A, Iwasawa T et al.	消化器内科	A novel prostaglandin I ₂ agonist, ONO-1301, attenuates liver inflammation and suppresses fibrosis in non-alcoholic steatohepatitis model mice	Inflamm Regen. 2022 Feb 1;42(1):3. doi: 10.1186/s41232-021-00191-6.	Original Article
131	Sakamaki A, Takamura M, Sakai N et al.	消化器内科	Longitudinal increase in albumin-bilirubin score is associated with non-malignancy-related mortality and quality of life in patients with liver cirrhosis	PLoS One. 2022 Feb 3;17(2):e0263464.	Original Article

132	Kimura A, Kamimura K, Ohkoshi- Yamada M et al.	消化器内科	Effects of a novel selective PPAR α modulator, statin, sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor, and combinatorial therapy on the liver and vasculature of medaka nonalcoholic steatohepatitis model	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Mar 12;596:76-82.	Original Article
133	Niwa Y, Kamimura K, Ogawa K et al.	消化器内科	Cyclin D1 Binding Protein 1 Responds to DNA Damage through the ATM-CHK2 Pathway	J Clin Med. 2022 Feb 6;11(3):851. doi: 10.3390/jcm11030851.	Original Article
134	Sato M, Morita K, Azumi R et al.	消化器内科	Diet-related changes of basal lamina fenestrations in the villous epithelium of the rat small intestine: Statistical analysis on scanning electron microscopy	Biomed Res. 2022;43(1):11-22.	Original Article
135	Hashimoto S, Sato H, Mizuno KI et al.	消化器内科	Endoscopic Submucosal Dissection for Gastric Tube Carcinoma after Esophagectomy Contributes to Long- Term Outcomes	Can J Gastroenterol Hepatol. 2022 Feb 10;2022:1631415.	Original Article
136	Yokoyama K, Sakamaki A, Takahashi K et al.	消化器内科	Hydrogen-producing small intestinal bacterial overgrowth is associated with hepatic encephalopathy and liver function	PLoS One. 2022 Feb 25;17(2):e0264459.	Original Article
137	Sato H, Ogihara H, Takahashi K et al.	消化器内科	New cine magnetic resonance imaging parameters for the differential diagnosis of chronic intestinal pseudo-obstruction	Sci Rep. 2021 Nov 26;11(1):22974. doi: 10.1038/s41598-021- 02268-1.	Original Article

138	Takamasa Cho, Hiroe Sato, Ayako Wakamatsu et al.	腎・膠原病内科	Mood Disorder in Systemic Lupus Erythematosus Induced by Antiribosomal P Protein Antibodies Associated with Decreased Serum and Brain Tryptophan	J Immunol. 2021 Apr 15;206(8):1729-1739	Original Article
139	Hiroki Maruyama, Atsumi Taguchi, Mariko Mikame et al.	腎・膠原病内科	Plasma Globotriaosylsphingosine and alpha-Galactosidase A Activity as a Combined Screening Biomarker for Fabry Disease in a Large Japanese Cohort	Curr Issues Mol Biol. 2021 Jun 19;43(1):389-404	Original Article
140	Minako Wakasugi, Ichiei Narita, Kunitoshi Iseki et al.	腎・膠原病内科	The Effect of CKD on Associations between Lifestyle Factors and All-cause, Cancer, and Cardiovascular Mortality: A Population-based Cohort Study	Intern Med. 2021 Jul 15;60(14):2189-2200	Original Article
141	Masanori Sudo, Kazuhiro Yoshita, Yumi Ito et al.	腎・膠原病内科	Histopathological features of kidney and renal prognosis in patients with preeclampsia	Pregnancy Hypertens. 2021 Aug;25:75-80	Original Article
142	Keiko Kabasawa, Junta Tanaka, Tomoyo Komata et al.	腎・膠原病内科	Determination of specific life changes on psychological distress during the COVID-19 pandemic	PLoS One. 2021 Aug 30;16(8):e0256481	Original Article
143	Keiko Kabasawa, Kazutoshi Nakamura, Yumi Ito et al.	腎・膠原病内科	Association Between Estimated Glomerular Filtration Rate Based on Cystatin C and Grip Strength in Community-Dwelling Japanese Older Adults	J Gerontol A Biol Sci Med Sci . 2021 Aug 13;76(9):1653-1660	Original Article

144	Hirofumi Watanabe, Alexandre G Martini, Evan A Brown et al.	腎・膠原病内科	Inhibition of the renin-angiotensin system causes concentric hypertrophy of renal arterioles in mice and humans	JCI Insight. 2021 Dec 22;6(24):e154337	Original Article
145	Hiroe Sato, Naoki Kondo, Yoichi Kurosawa et al.	腎・膠原病内科	Lower trabecular bone score is associated with an increased incidence of localized femoral periosteal thickening	J Bone Miner Metab. 2021 Nov;39(6):952-961	Original Article
146	Nobuyuki Shirai, Suguru Yamamoto, Yutaka Osawa et al.	腎・膠原病内科	Comparison of muscle strength between hemodialysis patients and non-dialysis patients with chronic kidney disease	J Phys Ther Sci. 2021 Oct;33(10):742-747	Original Article
147	Yuta Yoshizawa, Michihiro Hosojima, Hideyuki Kabasawa et al.	腎・膠原病内科	Measurement of Plasma Glucagon Levels Using Mass Spectrometry in Patients with Type 2 Diabetes on Maintenance Hemodialysis	Kidney Blood Press Res. 2021;46(5):652-656	Original Article
148	Nobuyuki Shirai, Suguru Yamamoto, Yutaka Osawa et al.	腎・膠原病内科	Fear of falling and physical activity in hemodialysis patients: a pilot study	Renal Replacement Therapy 7: 63, 2021	Original Article
149	Kou Kitabayashi, Suguru Yamamoto, Yumi Katano et al.	腎・膠原病内科	Locomotive syndrome in hemodialysis patients and its association with quality of life—a cross-sectional study	Renal Replacement Therapy 7: 36, 2021	Original Article

150	Keiko Kabasawa, Michihiro Hosojima, Yumi Ito et al.	腎・膠原病内科	Association of metabolic syndrome traits with urinary biomarkers in Japanese adults	Diabetol Metab Syndr. 2022 Jan 15;14(1):9	Original Article
151	Minako Wakasugi, Akio Yokoseki, Masakazu Wada et al.	腎・膠原病内科	Polypharmacy, chronic kidney disease, and incident fragility fracture: a prospective cohort study	J Bone Miner Metab. 2022 Jan;40(1):157-166	Original Article
152	Suguru Yamamoto, Brian A Bieber, Hirotaka Komaba et al.	腎・膠原病内科	Medical Director Practice of Advising Increased Dietary Protein Intake in Hemodialysis Patients With Hyperphosphatemia: Associations With Mortality in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study	J Ren Nutr. 2022 Mar;32(2):243-250	Original Article
153	Ryohei Kaseda, Michihiro Hosojima, Shoji Kuwahara et al.	腎・膠原病内科	Rice Endosperm Protein Improves the Anti-Inflammatory Effects of High-Density Lipoprotein and Produces Lower Atherosclerotic Lesion Accelerated by the Renal Mass Reduction than Casein in a Mouse Model	J Am Coll Nutr. 2021 Aug 23;1-11	Original Article
154	Ryo Koda, Satoru Miyazaki, Noriaki Iino et al.	腎・膠原病内科	Vitamin D Deficiency-induced Osteomalacia in a Patient with Anorexia Nervosa	Intern Med. 2021 Jun 1;60(11):1731-1736.	Case report
155	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama	腎・膠原病内科	Hematuria, bone health, and cardiovascular mortality	Clin Exp Nephrol. 2021 May;25(5):562-563	Others

156	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T et al.	整形外科	Impact of the flexibility of the spinal deformity on low back pain and disc degeneration in adult patients nonoperatively treated for adolescent idiopathic scoliosis with thoracolumbar or lumbar curves.	Spine Deform. 2022 Jan;10(1):133-140.	Original Article
157	Ohashi M, Yoda T, Imai N et al.	整形外科	Five-year longitudinal study of frailty prevalence and course assessed using the Kihon Checklist among community-dwelling older adults in Japan.	Sci Rep. 2021 Jun 11;11(1):12399.	Original Article
158	Minato K, Hirano T, Kawashima H et al.	整形外科	Minimally Invasive Spinal Stabilization with Denosumab before Total Spondylectomy for a Collapsing Lower Lumbar Spinal Giant Cell Tumor.	Acta Med Okayama. 2021 Feb;75(1):95-101.	Original Article
159	Watanabe K, Ohashi M, Hirano T et al.	整形外科	Significance of long corrective fusion to the ilium for physical function in patients with adult spinal deformity.	J Orthop Sci. 2021 Nov;26(6):962-967.	Original Article
160	Kimura S, Hosoi M, Ohtsuru N et al.	整形外科	A novel exercise facilitation method in combination with cognitive behavioral therapy using the ikiiki rehabilitation notebook for intractable chronic pain:	Technical report and 22 Cases:Healthcare (Basel). 2021 Sep 14;9(9):1209	Original Article
161	Makino T, Katsumi K, Yamazaki A et al.	整形外科	Detailed features and prognostic factors of twenty-three patients with drop finger caused by cervical radiculopathy: a retrospective multicentre study.	Int Orthop . 2021 Nov;45(11):2909-2916.	Original Article

162	Kondo N, Kuroda T, Kobayashi D	整形外科	Cytokine networks in the pathogenesis of rheumatoid arthritis. .	Int J Mol Sci 2021, 22, 10922	Original Article
163	KondoN, Sakai Y, Kakutani R et al.	整形外科	Clinical characteristics and treatment status of pustulotic arthro-osteitis: A single-center studu involving 51 cases.	J Dermatology. 2021, 48, 1724-1730.	Original Article
164	Takahashi S, Kondo N, Kijima Y, et al.	整形外科	Ankle arthrodesis using a retrograde intramedullary rod with fins for highly destrctive joints in elderly patients with rheumatoid arthritis:	A report of two cases. Clinical Case Reports 2022, Feb 7; 10(2):e05348.	Original Article
165	Kijima Y, Kondo N, Okumura G, et al.	整形外科	Bone histomorphometry of femoral head cancellous bone in patients who underwent total hip arthroplasties due to destructive hip in rheumatoid arthritis.	Acta Med Okayama . 2021 Apr;75(2):125-131	Original Article
166	Rei Kumazaki, Norio Imai, Atsushi Sakagami, et al.	整形外科	Passive ankle motion and calf massage without anticoagulation therapy after total hip arthroplasty: A retrospective study.	J Orthop Sci. 2022 Jan;27(1):153-157	Original Article
167	Norio Imai, Naoto Endo, Ken Suda et al.	整形外科	Multidisciplinary approach to reduce postoperative complication and improve the activity of patients with hip fracture: a 24-months follow-up survey.	Acta Med Okayama; 75: 595-600	Original Article

168	Hayato Suzuki. Norio Imai. Asami Nozaki et al.	整形外科	Accuracy of acetabular cup implanation, as a function of body mass index and soft-tissue thickness, with a mechanical intraoperative support device: a retrospective observational study.	Acta Med Okayama. 2021;75(5):575-583	Original Article
169	Mochizuki T, Blaha JD, Tanifuji O et al.	整形外科	The three-dimensional quadriceps vector is most parallel to the spherical axis in Japanese varus osteoarthritic knees.	Knee. 2021 Dec;33:200-209	Original Article
170	Tanifuji O, Mochizuki T, Yamagiwa H et al.	整形外科	Comparison of post-operative three-dimensional and two-dimensional evaluation of component position for total knee arthroplasty.	Knee Surg Relat Res. 2021 Jul 13;33(1):21.	Original Article
171	Mochizuki T, Sato T, Katsumi R.	整形外科	Association between the toe angle and bony factors in the transverse plane for osteoarthritic knees compared with healthy knees.	Biomed Mater Eng. 2021;32(6):359-373.	Original Article
172	Mochizuki T, Omori G, Nishino K et al.	整形外科	The medial inclination of the proximal tibia is associated with the external knee adduction moment in advanced varus knee osteoarthritis.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2022 Feb;30(2):574-583.	Original Article
173	Mochizuki T, Tanifuji O, Watanabe S et al.	整形外科	The postoperative shorter meniscal width was the risk factor of lateral meniscal extrusion in the middle portion for juvenile and adolescent knees with discoid lateral meniscus.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2021 Sep;29(9):2857-2866.	Original Article

174	Oike N, Kawashima H, Ogose A et al.	整形外科	Human leukocyte antigen I is significantly downregulated in patients with myxoid liposarcomas.	Cancer Immunology Immunotherapy 2021 Dec;70(12):3489-3499	Original Article
175	Tomoaki Suzuki, Hitoshi Hasegawa, Kazuhiro Ando et al.	脳神経外科	Hemodynamic features of an intracranial aneurysm rupture predicted by perianeurysmal edema: A case report	Surgical Neurology International, .2021Feb 10 . 12:49	Case report
176	Masayasu Okada, Yosuke Kawagoe, Yuta Sato et al.	脳神経外科	Phosphorylation of GAP-43 T172 is a molecular marker of growing axons in a wide range of mammals including primates.	Molecular Brain. 2021 Apr 8;14(1):66	Original Article
177	Tomoaki Suzuki	脳神経外科	Development and natural course of lateral posterior choroidal artery aneurysms arising from fragile choroidal collaterals in moyamoya disease: illustrative cases.	Journal of neurosurgery: Case Lessons, 2021, 1(15)	Case report
178	Jotaro On, Manabu Natsumeda, Jun Watanabe et al.	脳神経外科	Low Detection Rate of H3K27M Mutations in Cerebrospinal Fluid Obtained from Lumbar Puncture in Newly Diagnosed Diffuse Midline Gliomas.	Diagnostics.2021 Apr 9;11(4):681	Original Article
179	Kazuhiro Ando	脳神経外科	Delayed Bleeding of Unruptured Intracranial Aneurysms After Coil Embolization: A Retrospective Case Series,	World neurosurgery, Vol. 149, May 2021, e135-145	Original Article

180	Manabu Natsumeda, Yu Kanemaru, Yukie Kawaguchi et al.	脳神経外科	Less-invasive diagnosis of disseminated epithelioid glioblastoma harboring BRAF V600E mutation by cerebrospinal fluid analysis-A case report.	Clinical case reports, 2021 Jul 16;9(7):e04551	Case report
181	Manabu Natsumeda, Michael Chang, Ramil Gabdul Khaev et al.	脳神経外科	Predicting BRAF V600E mutation in glioblastoma: utility of radiographic features,	Brain Tumor Pathology, 2021 Jul;38(3):228-233	Original Article
182	Yoko Nakayama, Tadashi Kawaguchi, Masafumi Fukuda et al.	脳神経外科	Intraoperative findings of abnormal muscle response for hemifacial spasm following botulinum neurotoxin treatment,	Acta Neurochir (Wien),. 2021 Dec;163(12):3303-3309.	Original Article
183	Taiki Saito, Yasushi Jimbo, Tetsuro Takao et al.	脳神経外科	Choroid Plexus Papilloma in the Fourth Ventricle Associated with Pheochromocytoma: A Case Report,	NMCCase Report Journal, 2021 Oct 23;8(1):727-731	Case report
184	Manabu Natsumeda, Hironaka Igarashi, Ramil Gabdul Khaev et al.	脳神経外科	Detection of 2-Hydroxyglutarate by 3.0-Tesla Magnetic Resonance Spectroscopy in Gliomas with Rare IDH Mutations: Making Sense of "False-Positive"	Cases. Diagnostics, 2021 Nov 16;11(11):2129	Original Article
185	Daiju Mitsuhashi, Ryuichi Hishida, Makoto Oishi et al.	脳神経外科	Visualization of cortical activation in human brain by flavoprotein fluorescence imaging,	Journal of Neurosurgery, 2022, 1.aop:1-9	Original Article

186	Kitaura H, Hiraishi T, Itoh Y et al.	脳神経外科	Reactive astrocytes contribute to epileptogenesis in patients with cavernous angioma	Epilepsy Res. 2021 Oct;176:106732. doi: 10.1016/j.epilepsyres.2021.106732. Epub 2021 Jul 26.	Original Article
187	Eda T, Okada M, Ogura R et al.	薬剤部	Novel Repositioning Therapy for Drug-Resistant Glioblastoma: In Vivo Validation Study of Clindamycin Treatment Targeting the mTOR Pathway and Combination Therapy with Temozolomide	Cancers (Basel). 2022 Feb 2;14(3):770. doi: 10.3390/cancers14030770	Original Article
188	Ishihara T, Koyama A, Hatano Y et al.	脳神経内科	Endogenous human retrovirus-K is not increased in the affected tissues of Japanese ALS patients	Neurosci Res. 2022 Feb;178:78-82.	Original Article
189	Taneda T, Kanazawa M, Higuchi Y et al.	脳神経内科	Neuronal Intranuclear Inclusion Disease Presenting with Voice Tremor	Mov Disord Clin Pract. 2021 Dec 9;9(3):404-406.	Case report
190	Kato T, Manabe RI, Igarashi H et al.	脳神経内科	Candesartan prevents arteriopathy progression in cerebral autosomal recessive arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy model	J Clin Invest. 2021 Nov 15;131(22):e140555.	Original Article
191	Koike Y, Sugai A, Hara N et al.	脳神経内科	Age-related demethylation of the TDP-43 autoregulatory region in the human motor cortex	Commun Biol. 2021 Sep 21;4(1):1107.	Original Article

192	Uemura M, Nozaki H, Koyama A et al.	脳神経内科	Corrigendum: HTRA1 Mutations Identified in Symptomatic Carriers Have the Property of Interfering the Trimer-Dependent Activation Cascade	Front Neurol. 2021 Sep 8;12:756038.	Original Article
193	Izumi Kawachi, Hiromichi Otaka, Kosuke Iwasaki et al.	脳神経内科	A Principal Component Analysis Approach to Estimate the Disability Status for Patients with Multiple Sclerosis Using Japanese Claims Data	Neurol Ther. 2022 Mar;11(1):385-396	Original Article
194	Sakata Y, Kanazawa M, Hatakeyama M et al.	脳神経内科	Do patients with multiple system atrophy have decreased nocturnal urinary concentration?	Clin Auton Res. 2021 Dec;31(6):787-790.	Original Article
195	Ansai, O., Hayashi, R., Nakamura, A et al.	皮膚科	Pregnancy-triggered atypical extrapalmoplantar erythematous hyperkeratotic lesions in palmoplantar keratoderma with mitochondrial mutations	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2021 Apr;35•4:e269-e272	Letter
196	Hasegawa, A., Shinkuma, S., Hayashi, R. et al.	皮膚科	Pustular Skin Lesions in an Adult Female Patient with X-linked Dominant Chondrodysplasia Punctata with a Novel Emopamil Binding Protein Mutation: A Rare Skin Manifestation	Acta Derm Venereol. 2021 Sep;101•9:adv00547	Others
197	Hasegawa, A., Hayashi, R., Shimomura, Y et al.	皮膚科	Only plantar lesion of punctate palmoplantar keratoderma with a novel missense mutation in the AAGAB gene: Two Japanese familial case reports and review of reported mutations	J Dermatol. 2021 Dec;48•12:1926-1930	Case report

198	Hayashi, R., Shimomura, Y.	皮膚科	Update of recent findings in genetic hair disorders	J Dermatol. 2022 Jan;49:1:55-67	Review
199	Hisashi Nakano, Daisuke Kawahara, Satoshi Tanabe et al.	放射線診断科・放射線治療科	Calculated relative biological effectiveness (RBE) for initial DNA double-strand breaks (DSB) from flattening filter and flattening filter-free 6 MV X-ray fields	BJR open.2021 Jul 5;3(1):20200072(オンライン)	Original Article
200	Hisashi Nakano, Satoshi Tanabe, Ryuta Sasamoto et al.	放射線診断科・放射線治療科	Radiobiological evaluation considering setup error on single-isocenter irradiation in stereotactic radiosurgery	J Appl Clin Med Phys. 2021 Jul;22(7):266-275.	Original Article
201	Tomoya Oshikane, Motoki Kaidu, Eisuke Abe et al.	放射線診断科・放射線治療科	A comparative study of high-dose-rate brachytherapy boost combined with external beam radiation therapy versus external beam radiation therapy alone for high-risk prostate cancer	J Radiat Res. 2021 May 12;62(3):525-532.	Original Article
202	Yamamoto T, Kurabe M, Kamiya Y	麻酔科	Re-sleeping after reversal of remimazolam by flumazenil	J Anesth.2021 Apr;35:2:322	Letter
203	Yamamoto T, Kurabe M, Kamiya Y	麻酔科	A mechanism of re-sedation caused by remimazolam	J Anesth.2021 June;35:3:467-8	Letter

204	Deguchi H, Furutani K, Mitsuma Y et al.	麻酔科	Propofol reduces the amplitude of transcranial electrical mo-tor-evoked potential without affecting spinal motor neurons: a prospective, single-arm, interventional study	J Anesth.2021 June;35・3:434-41	Original Article
205	Sasaki M, Kamiya Y, Bamba K et al.	麻酔科	Serotonin plays a key role in the development of opioid-induced hyperalgesia in mice	J Pain.2021 June;22・6:715-29	Original Article
206	Yamamoto T, Saito T, Shiraishi S et al.	麻酔科	Novel choices of cannula for blood delivery via femoral artery in pediatric patients	Thorac Cardiovasc Surg.2022 Jan;70・1:45-9	Others
207	Yamamoto T, Mishima T, Shiraishi S et al.	麻酔科	Ensure an “Ultrasound Window” on the patient’s neck to evaluate cerebral blood flow!	Thorac Cardiovasc Surg.2022 Jan;70・1:50-5	Others

計207件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	勝見祐二, 内藤絵里子, 笠原映他	顎顔面口腔外科	口腔癌Stage III, IV症例の臨床統計的検討	新潟歯学会誌, 51(1): 31-38, 2021	Case report
2	児玉泰光	顎顔面口腔外科	新潟大学顎顔面口腔外科における言語成績を上げるための口蓋裂手術の工夫	日口外誌. 67(12):688-695, 2021	Review
3	池田順行, 上野山敦士, 高嶋真樹子他	顎顔面口腔外科	関節隆起部の骨蜂巣内に炎症性変化が波及した変形性顎関節症の1例	新潟歯学会誌 51(2):25-29, 2021	Case report
4	曾我麻里恵, 勝良剛詞, 小林太一他	歯科放射線科	頭頸部放射線治療後のう蝕発生リスク因子に関する検討	歯科放射線 61(2):41-46, 2021	Original Article
5	齋藤千愛, 吉田謙介, 金子奨太他	薬剤部	下顎埋伏智歯抜歯のSSIに対する治療抗菌薬の使用実態調査	環境感染誌. 37(2):62-68, 2022	Original Article
6	山崎裕太, 安島久雄, 荒井良明他	顎口腔インプラント治療部	変形性顎関節症による前歯部開咬に対しオクルーザルオーバーレイスプリントを用いて咬合機能を回復した1例.	日本顎関節学会雑誌. 2021;33・1:20-25	Original Article

7	高嶋真樹子	顎口腔インプラント治療部	咬耗と咬合高径の低下を伴う審美障害に対して咬合再構成を行った症例	日本補綴歯科学会誌 2021;13・2:245-248	Original Article
8	佐藤 伊将, 松田 英伸, 野崎 耀平 他	眼科	10年後に僚眼に発症しウイルス定量を行った急性網膜壊死の1例	臨床眼科. 2021 Apr;75・4:549-554	Original Article
9	堀 一浩, 小野高裕	義歯診療科	押しつぶし食の摂食運動.	月刊フードケミカル, 2022 Mar; 37(3):26-32	Review
10	堀一浩, 上原文子, 戸川瞳 他	義歯診療科	かむを測り, 気づき, 変えるための食育プロジェクト:パイロットスタディ.	日咀嚼会誌. 2021 Nov; 31(2):83-90	Original Article
11	小野高裕, 堀一浩	義歯診療科	「かむ」を測り, 気づき, 変えるための食育プロジェクト 令和2年度の速報.	新歯界. 2021 Nov; 807:39-43	Original Article
12	重本 心平, 堀 一浩, 大川 純平 他	義歯診療科	高齢入院患者における舌圧と栄養リスクおよび食形態との関係.	老年歯科医学, 2021 Sep; 36(2):91-9	Original Article
13	小野高裕, 堀一浩	義歯診療科	食事・栄養における咀嚼の重要性.	New Diet Therapy. 2021 37: 67-74	Review

14	長谷川 陽子、玉岡 丈二、永井 宏達 他	義歯診療科	引きこもり予防に口腔機能維持は寄与するのか.	会誌「8020」. 2021; 21:156-159	Original Article
15	西山慶	救急科	新しい蘇生後脳症の重症度評価法とそれに基づいた新しい蘇生後ケアの開発:近赤外分光法(NIRS)による脳組織酸素飽和度(rSO2)の可能性	蘇生 40(3) 174-174 2021年10月	Original Article
16	西山慶	救急科	With COVID-19を見据えたHCUの在り方 HCUがICUの補完とまらない可能性	日本集中治療医学会雑誌 28(Suppl.2) 297-297 2021年9月	Original Article
17	西山慶	救急科	脳損傷に対する体温管理療法(TTM、Target Temperature Management)と治療的低体温療法(TH、Therapeutic Hypothermia)	新潟県医師会報 (854) 2-6 2021年5月	Original Article
18	上村 夏生, 玉川 大郎, 八幡 えり佳 他	救急科	緊急腹腔穿刺で改善した上部消化管穿孔による緊張性気腹の1例	日本救急医学会雑誌 33(1) 6-11 2022年1月	Case report
19	曾根博仁、田中司朗.	内分泌・代謝内科	糖尿病合併症リスクエンジン	糖尿病・内分泌代謝科. 2021.6;(2435-1946)52巻6号 Page552-558	Original Article
20	関義信	血液内科	ROTEMによるCOVID-19重症肺炎患者の凝固能評価	血栓止血誌. 2021;32(4):552-554	Original Article

21	関義信	血液内科	深部静脈血栓症除外のための臨床症状とDダイマーを利用した簡易な診断	血栓止血誌. 2021;32(5):644-646	Original Article
22	張かおり、曾根博仁.	内分泌・代謝内科	糖尿病患者の朝夕食の摂食エネルギーおよび主要栄養素摂取量と、疾患特異的およびすべての原因による死亡率との関連:2003~2014年米国国民栄養健康調査より	糖尿病プラクティス. 2021;38(3):353-358	Original Article
23	曾根博仁	内分泌・代謝内科	リアルワールドデータ(RWD)を活用した糖尿病合併症の臨床エビデンス創出.	糖尿病合併症. 2021;35(1):19-23	Original Article
24	鈴木浩史、渡辺賢一、曾根博仁	内分泌・代謝内科	機能性表示食品と脂質異常	カレントセラピー. 2021.9;(0287-8445)39巻9号 Page871-875	Original Article
25	斎藤啓輔、矢口雄大、滝澤祥子 他	内分泌・代謝内科	粘液水腫性昏睡に急性膵炎を合併した一例	日本内分泌学会雑誌. 2021;S.Update(97):38-40	Original Article
26	瀧澤淳	血液内科	慢性リンパ性白血病とその類縁疾患の予後予測因子	日本臨床. 2021.11;(0047-1852)79巻11号 Page1720-1724	Original Article
27	松林泰弘、藤原和哉、曾根博仁	内分泌・代謝内科	慢性高インスリン血症の反映指標でもあるメタボ陸症候群脂肪肝の存在が心血管疾患発症に与える影響について	新潟県医師会報. 2022;863:11-13	Original Article

28	須田大亮, 原 太一, 齋藤大 輔 他	口腔再建外科	下顎骨関節突起骨折に 対するHigh perimandibular approachを用いた観血 的整復固定術.	新潟歯会誌. 2021年6月 51:1 : 39-43	Case report
29	須田大亮, 竹 内玄太郎, 丸 山 智 他	口腔再建外科	広範な口腔潰瘍を契機 に診断に至った多発血 管炎性肉芽腫症の1例	日口外会誌 2022年1月 68:1: 8-14	Case report
30	竹中彰治	歯の診療科	口腔バイオフィームとの 共存をコンセプトとした バイオフィーム制御材の 開発.	日本歯科保存学雑誌 (Japanese Journal of Conservative Dentistry (Web)), 2022;65・1:21-24	Review
31	佐藤 拓実, 野村 みずき, 都野 さやか 他	歯科総合診療科	研修歯科医の下顎総義 歯内面適合診査におけ る強圧部分の判断に関 する臨床技能教育方法 の検討	日本歯科医学教育学会雑 誌.2021.12;37・3:93-101 (オンライン)	Original Article
32	長谷川 真奈, 伊藤 晴江, 奥村 暢旦 他	歯科総合診療科	歯科衛生士による研修 歯科医の診療パフォー マンス評価の試み	日本歯科医学教育学会雑 誌.2021.4;37-1:3-10(オン ライン)	Others
33	田沼順一	病理部	口腔細胞診のベセスダ システム NILM、 LSIL(OLSIL)、 HSIL(OHSIL)、SCCの 鑑別点	診断病理(1345-6431)38巻 2号 Page136- 145(2021.04)	Review
34	岸本直隆, 瀬 尾憲司	歯科麻酔科	歯科医院における患者 急変対応の習得を目的 とした歯科麻酔学教育	日本歯科医師会雑誌. 2021;74(2):17-26.	Original Article

35	田中 裕, 瀬尾憲司, 村松公美子 他	歯科麻酔科	口腔顔面痛の病態診断としてのPain DETECTの有用性	慢性疼痛, 40(1):189-196, 2021.	Case report
36	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	専攻医トレーニング講座: 慢性めまいの鑑別診断	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2021.08; 124(8): 1210-1214	Review
37	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	専門医スキルアップ講座 めまい疾患の新しい診断基準と診断の進め方	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2021.09; 124(9): 1313-1314	Review
38	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	【必読!メニエール病の新分類とその周辺疾患】フローチャートによるめまい診断 急性めまいと慢性めまい	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2021.11; 93(12): 968-972	Review
39	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	めまい平衡検査の原点から現状、そして未来へ心理検査	Equilibrium Res. 2021.08; 80(4): 261-263	Review
40	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	【内科医が知っておくべき境界領域疾患】内科医が知っておくべき耳鼻咽喉科疾患(めまい編: BPPV、PPPD、突発性難聴、メニエール病等)	日本内科学会雑誌. 2021.12; 110(12):2567-2573	Review
41	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	【ANCA関連血管炎性中耳炎(OMAAV): 診断アップデート】ANCA関連血管炎性中耳炎(OMAAV)診断における鼓膜スコア(SCoring system for OMAAV Tympanic membrane、SCOT)の有用性	Otology Japan. 2021.12; 31(4):365-370	Review

42	森田 由香, 北澤 明子, 八木 千裕 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	ANL Secondary Publication ANCA関連 血管炎性中耳炎の鼓膜 所見	日本耳鼻咽喉科頭頸部外 科学会会報. 2022.03; 125(3):323-324	Review
43	森田 由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	キャリア支援と働き方改 革 地方大学の医局長 の立場から	日本耳鼻咽喉科頭頸部外 科学会会報. 2021.08; 124(8):1139-1143	Review
44	廣嶋省太、林 雅子、澤野堅 太郎 他	小児科	ヘパリン入り微量採血 管によりTSH受容体抗 体偽高値を呈した先天 性甲状腺機能低下症	日本小児科学会雑誌 125(8): 1205-1208, 2021	Case report
45	今井千速.	小児科	小児悪性固形腫瘍に対 するCAR-T細胞療法の 開発.	BIO Clinica(0919-8237)36 巻12号 Page1155- 1159(2021.11)	Review
46	笠原 靖史, 今井 千速	小児科	膠芽腫に対するCAR-T 細胞療法	小児の脳神経(0387- 8023)46巻3号 Page211- 219(2021.08)	Review
47	笠原 靖史, 今井 千速	小児科	NK細胞の活性化受容 体を利用したキメラ抗原 受容体	日本小児血液・がん学会 雑誌(2187-011X)58巻3号 Page185-193(2021.11)	Review
48	斎藤浩一、木 下義晶、高橋 良彰	小児外科	Traumatic Surgery Damage control surgery	小児外科 53(11):1156- 1159,2021.	Review

49	北條 雄暉, 上村 博輝, 大脇 崇史 他	消化器内科	脾動脈瘤破裂を契機に C型肝炎治療に至った 肝硬変の1例	肝臓62巻11号 749- 755(2021.11)	Case report
50	若杉三奈子、 成田 一衛	腎・膠原病内科	患者対透析スタッフ比 率と都道府県別標準化 死亡比:構造方程式モ デリング	日本腎臓学会誌 2021 05; 63(1): 179-186	Original Article
51	小林 大介、 伊藤 聡、村 澤 章 他	腎・膠原病内科	新潟県立リウマチセン ターでの関節リウマチ患 者に対する生物学的製 剤の継続率の調査	中部リウマチ 2021 11; 51(1):6-10	Original Article
52	佐藤 弘恵、 黒澤 陽一、 長谷川絵理 子 他	腎・膠原病内科	高齢関節リウマチ患者 におけるサルコペニア・ フレイルの報告(第1報)	中部リウマチ 2022 03; 51(2): 14-21	Original Article
53	佐藤 弘恵、 近藤 直樹、 小林 大介 他	腎・膠原病内科	膠原病リウマチ患者に おける非定型大腿骨骨 折の前兆となる限局性 大腿骨外側骨皮質肥厚 の危険因子の検討	日本骨粗鬆症学会雑誌 2021 09;7(Suppl1):295	Original Article
54	川島寛之	整形外科	整形外科医が知ってお くべき5大がんの特徴	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)96巻1号 Page53-62(2022.01)	Original Article
55	川島寛之	整形外科	他科との協働による骨 軟部肉腫診療	新潟医学会雑誌. 2021年7 月. 第135巻・7号:111-117	Original Article

56	村山雄大、有泉高志、生越章 他	整形外科	臨床室 Trousseau症候群を呈した多形型平滑筋肉腫の1例	整形外科(0030-5901)73巻2号 Page141-143(2022.02)	Case report
57	大橋 正幸, 渡辺 慶, 荒引 剛 他	整形外科	特発性側彎症における椎体変形の3次元的评价法の確立と骨代謝動態からみた機序解明	新潟県医師会報(0912-2796)862号 Page8-9(2022.01)	Others
58	渋谷 洋平, 勝見 敬一, 平野 徹 他	整形外科	高齢者脊椎脆弱性骨折に対する最小侵襲後方固定術	整形外科最小侵襲手術ジャーナル(1342-3991)101号 Page38-44(2021.12)	Others
59	田仕 英希, 長谷川 和宏	整形外科	脊柱骨盤アライメントに基づくヒト立位バランス	脊椎脊髄ジャーナル(0914-4412)34巻11号 Page675-680(2022.03)	Review
60	添野竜也, 望月 友晴, 谷藤 理 他	整形外科	当院におけるAPS(Autologous Protein Solution)投与の実際と短期成績	新潟整形外科研究会会誌37巻1号 Page29-34(2021.12)	Original Article
61	谷藤 理, 望月 友晴, 土方 啓生 他	整形外科	mobile medial pivot type TKAの術後三次元膝運動解析	日本人工関節学会誌(1345-7608)51巻 Page419-420(2021.12)	Original Article
62	栗原 豊明, 望月 友晴, 西野 勝敏 他	整形外科	投球リリースポイントのばらつきには踏み出し脚の膝・股関節・骨盤の運動が関係する	臨床バイオメカニクス(1884-5274)42巻 Page1-7(2021.10)	Original Article

63	坂爪 佑輔, 谷藤 理, 望 月 友晴 他	整形外科	前十字靭帯再建術前後 のMRIによる大腿四頭 筋断面積評価	JOSKAS(1884-8842)46巻2 号 Page296-297(2021.05)	Original Article
64	谷藤 理, 望 月 友晴, 添 野 竜也 他	整形外科	フィブリンクロット併用鏡 視下半月板縫合術の治 療成績 多施設共同研 究	JOSKAS(1884-8842)46巻2 号 Page256-257(2021.05)	Original Article
65	鈴木 勇人, 今井 教雄, 野崎 あさみ 他	整形外科	仰臥位アプローチで行 う人工股関節置換術に おける術中ステム捻 角の評価	東日本整形災害外科学会 雑誌.2022.03;34・1:33-36	Original Article
66	今井 教雄, 野崎 あさ み, 堀米 洋 二 他	整形外科	弾性包帯を用いたTHA 周術期VTE対策の短期 成績	新潟整形外科研究会誌 2021. 37: 35-38	Original Article
67	村上 玲子, 高橋 牧, 榮 森 景子 他	整形外科	超音波像を用いた乳児 股関節一次検診の有用 性	日本小児整形外科学会雑 誌(0917-6950)30巻2号 Page223-226(2021.12)	Original Article
68	土田 正則	呼吸器外科	まい・てくにつく 右肺門 における左右心房間溝 剥離のコツと注意点	胸部外科(0021-5252)74巻 4号 Page256(2021.04)	Original Article
69	榛沢 和彦, 伊倉真衣子, 千葉 寛	心臓血管外科	一般企業における頸動 脈微小栓子シグナルを 用いた検診結果	Neurosonology 34(1):4- 9, 2021	Original Article

70	長谷川仁	脳神経外科	前交通動脈瘤に対するステント併用コイル塞栓術 - ステント留置血管の選択とテクニックの詳細	脳血管内治療の進歩, 診断と治療社, 2021,P28-36	Others
71	長谷川仁	脳神経外科	dAVF に対する Onyx TAE におけるバルーンカテーテル活用法.	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2021	Others
72	棗田学	脳神経外科	悪性神経膠腫における免疫チェックポイント阻害療法: 現状と可能性	脳神経外科速報, 2022, 32(2): 284- 289	Others
73	種田 朝音, 今野 卓哉, 小野 純花 他	脳神経内科	発熱と白血球増多を伴わず、脳出血で発症したStaphylococcus warneriによる感染性心内膜炎の1例	臨床神経学.2021.08; 61・8: 563-566	Letter
74	大橋宣子、河野達郎	麻酔科	脊髄における全身麻酔薬(吸入および静脈麻酔薬)の鎮痛メカニズム特集 再訪: 麻酔メカニズム	麻酔.2021.7月 ;70・7:732-8	Review
75	紙谷義孝、栗田秀一郎	麻酔科	脳神経外科の術後疼痛管理の実際 術後痛管理-その実際と最新の知見-	日本臨床麻酔学会誌:2022.3月;42・2:168-74	Others

計75件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 新潟大学における人を対象とする研究等倫理審査委員会規程 2. 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 1. 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 2. 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 3. 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン (人を対象とする医学系研究等)	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 1. 令和 3 年度 研究倫理セミナー	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科88人, 歯科0人
-------------	-------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
猪又孝元	循環器内科	教授	34年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	33年	
曾根博仁	血液内科	教授	33年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	40年	
菊地利明	呼吸器・感染症内科	教授	33年	
菊地利明	心療内科	教授	33年	
寺井崇二	消化器内科	教授	33年	
寺井崇二	胆肝膵内科	教授	33年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	36年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	39年	
染矢俊幸	精神科	教授	40年	
齋藤昭彦	小児科	教授	32年	
若井俊文	消化器外科	教授	31年	
若井俊文	乳腺・内分泌外科	教授	31年	
白石修一	心臓血管外科	准教授	25年	
土田正則	呼吸器外科	教授	38年	
川島寛之	整形外科	教授	27年	
松田 健	形成・美容外科	教授	27年	
木下義晶	小児外科	教授	30年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	40年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	29年	
冨田善彦	泌尿器科	教授	38年	

福地健郎	眼科	教授	38年
堀井新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	教授	34年
吉原弘祐	産科婦人科	教授	20年
石川浩志	放射線治療科	教授	28年
石川浩志	放射線診断科	教授	28年
馬場 洋	麻酔科	教授	35年
西山慶	救急科	教授	26年
川島寛之	リハビリテーシ ョン科	教授	27年
味岡洋一	病理診断科	教授	39年
藤井規孝	歯科総合診療科	教授	32年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して

別添1「2021年度 RICCAキャリア開発支援研修実績」を参照（対象研修：任意研修）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して

別添1「2021年度 RICCAキャリア開発支援研修実績」を参照（対象研修：基礎研修、ラダー別研修、役割研修、看護補助者研修等）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して

別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和3年度」を参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2021年度 RICCAキャリア開発支援研修実績

【別添1】

看護職

研修区分	対象	ラダー能力	研修名	内容・ねらい	研修担当	開催日	受講者数		
基礎研修	1年目	看護実践能力	①看護記録Ⅰ ②看護記録Ⅱ	①院内の看護記録の概要を理解できる 情報管理 記録のポイント ②看護診断の基礎知識が理解できる 問題解決型記録 NANDA看護診断	看護情報委員会	①4/5 ②7/3	①60名 ②60名		
			各種スクリーニング	DocuMakerのアセスメント票を用いた各種スクリーニング方法の説明 演習(模擬患者について)	キャリアコアC	4/8	60名		
			電子カルテ基礎・実践	His 端末操作演習	キャリアコアC	4/8・9	60名		
			重症度・医療看護必要度	重症度・医療看護必要度を理解し、入力することができる	看護情報委員会	4/5	61名		
			医療安全	医療安全管理Ⅰ	安全管理マニュアルに沿った基本的看護技術を習得できる 安全管理の視点から「患者確認行動」「指示受け方法」が理解できる	医療安全管理部	4/5	61名	
				医療安全管理Ⅱ	インシデント事例を振り返るインシデントレポートの作成の意義と活用	医療安全管理部	10/6・12	60名	
			感染管理Ⅰ 感染防止の基礎技術	院内マニュアルに沿った基本的な知識と技術を習得できる ・基本的手洗い、手指消毒の実際 ・PPEの着脱演習 オムツ交換	感染管理部 感染管理CN	4/6	61名		
			口腔ケア	基本的な口腔ケア技術を習得できる	キャリアコアC	4/7	60名		
			①褥瘡ケアⅠ ②褥瘡ケアⅡ	院内における褥瘡管理について理解できる 褥瘡発生要因、褥瘡発生防止について理解できる 患者体験を通して褥瘡予防法を理解できる	皮膚排泄特定CN	①4/8 ②5/19・20	①60名 ②60名		
			糖尿病の基礎知識1.2	糖尿病と治療について理解できる インスリン療法について理解できる 低血糖と対処方法が理解できる インスリン指示票の見方、血糖測定とインスリン注射の基本が理解できる	キャリアコアC	4/12	60名		
			輸血の基礎知識	輸血の基礎知識を理解し安全に実施できる	キャリアコアC	4/14	60名		
			認知症の理解	ユマニチュード DVD視聴	キャリアコアC	4/8	60名		
			高齢者看護	高齢者の特徴を理解し、介助の注意点が分かる	キャリアコアC	5/18・19	60名		
			小児看護	小児の呼吸・循環の観察ポイント、循環の異常・正常が理解できる 小児の検査に伴う鎮静時のポイントが理解できる	キャリアコアC 小児科看護師	5/11	60名		
			①労働安全衛生教育 ②メンタルヘルスケア	自己のメンタルヘルスケアに目を向けることができる	保健管理セン ター産業医	①4/2 ②5/18・19	①61名 ②60名		
			社会人・看護者の倫理	看護職の倫理綱領	教育担当副部長 看護師長会	4/1	61名		
			接遇	接遇の基本と実践(言葉遣い、身だしなみ)	外部講師	4/5	61名		
			コミュニ ケーショ ン	コミュニケーションⅠ	コミュニケーションスキルの基本を理解できる	キャリアコアC	4/6・7	60名	
				コミュニケーションⅡ	援助的なコミュニケーションスキルを理解することができる	キャリアコアC	7/3	60名	
				コミュニケーションⅢ	コミュニケーションスキルを活用し、ケアの受け手やチームの医療関係者と関係性を築き適切な情報交換ができる	キャリアコアC	10/6・12	59名	
			臨床技術 トレーニ ング	STEPⅠ 車椅子移乗・寝衣交換	車椅子移乗移送 臥床患者の寝衣交換	キャリアコアC	4/7	60名	
				STEPⅠ 筋肉注射・皮下注射	筋肉注射と皮下注射を安全・清潔に実施できる	キャリアコアC	4/12	60名	
				STEPⅠ 採血	真空採血管を安全・清潔に実施できる	キャリアコアC	4/13	60名	
				STEPⅠ 酸素療法	酸素ボンベの取り扱いが安全に実施できる アウトレットの使い方が分かる	キャリアコアC	4/9	60名	
				STEPⅡ 段階的課題提示型シミュレーション	STEPⅠで習得した点滴管理技術をベースにSTEPⅡでは患者設定を行い、グループディスカッションを踏まえて様々な気づきを得る 基本看護技術を応用したシミュレーション研修を通して、患者の個別性を考慮した看護ケアを考えることができる	キャリアコアC	6/7・8・9 14・15・16	60名	
				STEPⅢ 段階的課題提示型シミュレーション	STEPⅡの事例を発展させ多重課題事例を通し最適なケアの選択と実践を考える PBL(Problem Based Learning)問題基盤型学習形式を一部取り入れた2日間のプログラムとし、第1日目ではグループディスカッションより課題を明確化し問題解決の手段を考え、第2日目ではグループディスカッションにより共通認識をもち、問題解決のプロセスを習得する。	キャリアコアC	1回目 11/1・4 2回目 12/1・2・6・7・ 8・9	1回目：57名 2回目：57名	
			静脈注射	STEPⅠ・Ⅱ 静脈注射点滴管理 輸液ポンプシリンジポンプ	I:点滴調合から実施の手順を安全・清潔に実施できる II:輸液ポンプとシリンジポンプの基本的操作方法を理解できる	キャリアコアC	4/14	60名	
				STEPⅢ:薬剤の基礎知識 STEPⅣ:がん化学療法の看護	III:薬剤を取り扱う上で注意すべき薬剤とそのリスクについて理解できる IV:がん化学療法を受ける患者の看護の基礎を理解できる	III薬剤部薬剤師 IVがん化学療法 CN	6/7・8・9 14・15・16	60名	
				STEPⅤ 静脈留置針の刺入	静脈留置針の刺入の基準手順を理解し、安全・清潔に実施できる	キャリアコアC	11/8・9・10・ 11・12・15・ 16・17・18・ 19・22・24・ 25・26・29	57名	
			クリティ カル看護	①バイタルサインズ ②循環器:心電図 ③急変時初動	①ベッドサイドで行うバイタルサインの測定を正しく理解し実施できる ②心電図の異常・正常が判断できる ③急変時の応援要請方法を理解できる	キャリアコアC	①4/14 ②5/11 ③5/18・19	①60名 ②60名 ③60名	
				容態変化対応コースⅠ	患者の状態をフィジカルイグザミネーション(視診・触診・打診・聴診)を用いて情報収集を行い、アセスメントができる。患者の状態を的確に報告できる	キャリアコアC	7/13・20・21	58名	
				BLS	BLS・AEDの使用知識技術を習得できる	キャリアコアC	7/13・20・21	58名	
				気道確保	気管内挿管に使用する器材の組み立て方法がわかる	キャリアコアC	7/13・20・21	58名	
			組織的役割遂 行能力	組織における看護の責任Ⅰ	組織を理解する 看護職の責務	看護部管理室	①11/1 ②12/9	①28名 ②42名	
			自己教育 研究能力	臨床実践応力 セルフモニタリングプログラム	事例を通して自己の観察ポイントと意図を言語化する グループメンバーやベテラン看護師の観察ポイントや観察意図について考える機会を得て点滴管理に必要な観察ポイントとその意図を習得する	キャリアコアC	8/3・5・6・	60名	
				事例に学ぶⅠ	プライマリー患者の看護過程をまとめる	看護情報委員会	11/26・12/24	57名	
				キャリアデザイン研修Ⅰ	看護職として「1年後の自分」を思い描き、その実現のために自分がどのような目標を持ち、どのように行動するのかを就職後の仲間とともに考える、	キャリアコアC	4/9	60名	
			2年目	看護実践能力	感染管理Ⅱ	院内レベルに応じた感染対策の基本的知識と技術を習得できる	感染管理CN	11/5	72名
					クリティカル看護 容態変化対応コースⅡ	1. 急変または急変に結びつく可能性のある危険な徴候の観察・アセスメントができる 2. 「ショックの5P」のフィジカルアセスメントが行える 3. 急変時の初期対応ができる	集中ケアCN 救急看護CN キャリアコアC	2/3・4	72名
					倫理研修Ⅰ	日常の看護から考える倫理的問題 eラーニング視聴	教育委員会	9月~10月	72名
			自己教育研究 能力	事例に学ぶⅡ	事例検討研修 根拠に基づいた看護実践を論文形式にまとめ、研究的視点を養う ①文献検索 ②論文検討会	研究支援委員会	①7/12・19 ②1/17・21	①71名 ②71名	

2021年度 RICCAキャリア開発支援研修実績

【別添1】

研修区分	対象	ラダー能力	研修名	内容・ねらい	研修担当	開催日	受講者数	
暫定	レベルII	組織的役割遂行能力	組織における看護の責任II	1. リーダーシップとは何かを知る 2. 自部署において自分なりのリーダーシップをどのように発揮し行動できるかを考える	教育委員会 担当部会	7/28 10/15	28名 25名	
			医療安全管理III	臨床で発生したインシデント・アクシデントに対して、客観的に情報を整理して共有し、チームの一員として、システム思考で分析と対策立案ができる。	看護安全管理委員会	10月～12月の任意の日時	45名	
ラダー別研修	レベルIII	看護実践能力	倫理研修II	倫理上の問題に気づき、倫理的推論ができるー倫理的意思決定プロセスを理解するー	教育委員会 担当部会	8/4 10/28	17名 15名	
			組織における看護の責任III	1. 組織と組織役割を理解する 2. 課題解決思考のプロセスを理解できる	看護師長会	11/1～12/9	28名 32名	
		組織的役割遂行能力	組織分析					
			コミュニケーションIV	アサーティブコミュニケーション (外部講師研修)	教育委員会	11/20	32名	
	レベルIV	看護実践能力	倫理研修III	看護実践における倫理 事例を通して倫理的推論からとるべき行動を考え、実践で活用できる	教育委員会 看護師長部会	11/9 11/30	10名 11名	
			クリティカル看護 容態変化対応コースIII	ABCDEアプローチを使用して急変に結びつく危険な徴候を認識し、根拠を意識した看護ケアを周囲との円滑なコミュニケーションのもとに実施することができる	集中ケアCN 救急看護CN	10/25	22名	
		組織的役割遂行能力	組織における看護の責任IV	実践I：部署における自分の立場・役割を理解し、実践行動計画を立てる準備ができる。 実践II：実践を通してリーダーシップ行動をとることができる	教育委員会 担当部会	I：5/14 II：2/21	I：30名 II：28名	
			リーダーシップ実践I					
			リーダーシップ実践II					
	自己教育研究能力	事例に学ぶIII	1. PFMの実践事例を文献等から得られた知見と照らし記述できる 2. 事例を分析的に評価し、看護実践上の課題が抽出できる	看護師長会	①9/9 ②2/2	①13名 ②13名		
		看護実践の質向上に受けた事例検討-PFM事例を通して-						
	レベルV	組織的役割遂行能力	事例に学ぶIII	1. PFMの実践事例を文献等から得られた知見と照らし記述できる 2. 事例を分析的に評価し、看護実践上の課題が抽出できる	看護師長会	①9/9 ②2/2	①13名 ②13名	
			看護実践の質向上に受けた事例検討-PFM事例を通して-					
			リフレクション	リフレクション手法を学び、実践に活用できる	教育委員会 Sim部会	12/15 12/20	11名 8名	
自己教育研究能力		組織における看護の責任V	看護の質改善につながるマネジメントについて理解を深める ①組織運営について ②医療・看護の質について ③組織における目標管理	看護部管理室	1/28	26名		
	組織で取り組む実践改善							
自己教育研究能力	自己教育研究能力	コミュニケーションV	コーチングスキル (外部講師研修)	看護部管理室	12/4	24名		
		*任意 危機管理	災害対応 危機管理マネジメント (仮) (外部講師研修)	看護部管理室	2/18	49名		
役割研修	看護師長	組織的役割遂行能力	看護管理研修	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	2/13	29名	
	副看護師長	組織的役割遂行能力	看護管理研修	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	1/29	72名	
	エルダー	組織的役割遂行能力	エルダー研修	エルダーの役割を理解し役割を遂行できる	教育委員会	6/30	23名	
任意研修	全職員	看護実践能力	糖尿病看護	当院で最近行われている自己血糖測定と治療について	慢性疾患看護専門看護師 糖尿病看護WG		48名	
	レベルIII以上	看護実践能力	がん看護	がん看護に関連する知識を深め、自部署で活かせるケアの実践力を身につける 他職種と連携協働し、患者や家族のQOL向上を目指したがん看護に取り組むことができる	緩和ケア認定看護師 がん化学療法看護認定看護師 がん看護研究会		8名	
	レベルIII以上	看護実践能力	呼吸ケア	気道管理と陽圧人工呼吸療法を学び、看護実践に活用できる	慢性呼吸器疾患看護特定認定看護師	研修概要参照	8名	
	レベルII	看護実践能力	スキンケア/創傷管理II	褥瘡など予防的スキンケアに対する技能をスキルアップし、根拠に基づき実践できる	皮膚排泄ケア特定認定看護師		6名	
	レベルIII以上	看護実践能力	スキンケア/創傷管理III	根拠やガイドライン、院内ルールを理解し、問題解決のための必要な資源を見極め、患者のケアの実践やスタッフ指導ができる	皮膚排泄ケア認定看護師		6名	
	レベルIV以上	看護実践能力	院内認定看護師養成研修 褥瘡管理(スキンケア)	自部署の褥瘡管理(スキンケア)における問題点を分析し、解決に向けて対策を検討し実践できる	皮膚排泄ケア特定認定看護師		3名	
			院内認定看護師養成研修 感染管理	自部署感染管理における問題点を分析し、解決に向けて対策を検討し実践できる	感染管理特定看護師		2名	
	全職員	自己教育研究能力	看護研究における文献検索	文献検索方法の基本を理解できる	看護研究支援委員会	7/19	13名	
	全職員	自己教育研究能力	プレゼンテーション研修	看護研修におけるプレゼンテーションの基本について理解する	看護研究支援委員会	10/11	33名	
	全職員	自己教育研究能力	看護研究 スタートアップ研修	1. 看護研究の意義と基本が理解できる 2. 本院における看護研究の進め方倫理的審査方法がわかる	看護研究支援委員会	第一部・第二部 3月の任意日	第一部：37名 第二部：35名	
	全職員	自己教育研究能力	看護研究発表会	研究で得られた知見を共有する	看護研究支援委員会	11/26, 12/3, 12/10	795名	
	全職員	看護実践能力	専門領域	救急看護BLS	急変患者の観察ができる 観察した内容を応援スタッフに報告できる BLSとAEDの使用知識・技術を習得できる	BLS院内研修担当者		68名

看護補助者

研修区分	対象	研修名	内容・ねらい	研修担当	開催日	受講者数
看護補助	補助者	看護補助者に必要な基礎知識	①医療制度の概要及び病院の機能と組織、医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務、守秘義務、個人情報の保護について理解できる②看護補助者業務を遂行するための基礎的な知識・技術、看護補助者業務における医療安全と感染防止として急変時の応援要請について④日常生活にかかわる業務、看護補助者業務における医療安全と感染防止として感染管理研修	看護部管理室 感染管理認定看護師 看護職キャリア開発コアセクター	2/15, 2/24, 3/17, 3/24	18名

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況:令和3年度

1.施設外看護職員対象研修

研修名	開催日	受講人数
指導者養成研修 シミュレーション教育ファシリテーター養成研修STEP I～III	R3年11月13日、12月11日、R4年1月8日	32
基礎看護技術研修 Aコース:採血・点滴管理コース	R3年10月27日	6
基礎看護技術研修 Bコース:注射・輸液ポンプ等操作コース	R3年10月27日	9
基礎看護技術研修 Cコース:在宅ケアコース	R3年10月13日、12月15日	11
基礎看護技術研修 褥瘡ケアコース	R3年10月20日、11月24日	11

2.看護師特定行為研修

特定行為区分	特定行為名	開催日	受講人数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	R3年12月14日	2
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	(A)脱水症状に対する輸液による補正	R3年12月15日	2
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		1
栄養に係るカテーテル管理(CVカテーテル管理)関連	(A)CVカテーテルの抜去		1
動脈血液ガス分析関連	(A)直接動脈穿刺法による採血	R3年12月21日	1
創部ドレーン管理関連	(A)創部ドレーンの抜去		1
創傷管理関連	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	R3年12月22日	1
感染に係る薬剤投与関連	(A)感染徴候がある者に対する臨時の投与		1
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連			2
術後疼痛管理関連	(A)硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	R3年12月23日	1
栄養に係るカテーテル管理(CVカテーテル管理)関連			2
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	(A)インスリンの投与量の調整	R3年12月24日	1

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 前島 一実	

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体(一部紙媒体) ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。	
		各科診療日誌			
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理	
		高度の医療の提供の実績	医事課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
		高度の医療の研修の実績	総務課		
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター		
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	医療安全管理部	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部		
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 島田 彰
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室
閲覧の手続の概要 様式第5の保管場所・管理方法による。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項 3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針 4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療上の事故等の発生時の基本方針 6 患者との情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年 12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 アクシデントの発生防止対策に関すること 2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること 3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること 4 その他医療安全の推進に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1 特定機能病院の承認要件 2 医療安全管理表彰 3 医療安全管理について 4 医薬品の安全管理2021 5 当院の医療機器安全管理 6 診療放射線安全利用の講習 7 児童虐待の初期対応 8 患者を正しく識別する：患者確認 9 検査の安全管理 <p>※ この他に新規採用者・復職者への研修，外部委託業者への研修を別途実施した</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集 2 医療安全対策の取り組みの評価，インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討 3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全管理委員会での報告，改善策の立案と実施，改善状況の検証・重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 4 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討 5 医療安全管理委員会，同調査専門委員会における事例分析，再発防止の検討，他 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 感染に関する基本的な考え方 2 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3 感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 7 感染対策の推進のために必要なその他の基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。 2 感染の予防対策に関すること。 3 感染発生時の対応及び改善策に関すること。 4 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。 5 感染対策に係る教育及び研修に関すること。 6 感染対策の実施状況の評価に関すること。 7 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。 8 その他感染対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症とその感染対策 Up to date 2 新型コロナウイルス感染対策～院内マニュアルの再確認を通して～ 3 広域抗菌薬の使用状況～カルバペネム薬を中心に～ 4 HIV感染症の概要と当院に求められる役割抗菌薬の適正使用に向けて 5 検体採取から始まる感染症診断 6 医療器具関連感染の防止 <p>※ この他に新規採用者・復職者への研修，外部委託業者への研修を別途実施した</p> 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤耐性菌，人工呼吸器関連肺炎，中心ライン関連血流感染，外科系診療科（消化器・乳腺内分泌外科，呼吸器・心臓血管外科，泌尿器科，産婦人科，脳神経外科，小児外科，整形科）別SSI，尿道留置カテーテル関連尿路感染，インフルエンザ，感染性胃腸炎，手指消毒薬の払い出し状況，手指衛生遵守状況，抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション，環境チェック） 3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し，迅速な感染防止対策を実施 4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂 5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は，直接的な主治医とのディスカッション 6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供） 7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応 8 針刺し・切創，粘膜曝露対策，職員のワクチン接種などの職業感染対策 9 施設管理部門，清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の安全管理2021 <ol style="list-style-type: none"> ① 本院の医薬品安全管理体制 ② 本院の医薬品に関連するインシデントの現状 ③ 医薬品安全管理における周知でお願いしたいこと 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 各部署の手順書の遵守状況のチェックを実施した。評価が悪かった項目は、後日改善を確認した。 ② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。 ③ 手順書の改訂を行った。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ol style="list-style-type: none"> 1 乳房全摘後、乳房再建後の乳輪乳頭再建の際の刺青（色素“PURE”を皮内に注入） <p>以上を含め、未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター（未承認新規医薬品等の担当部門）に申請があり、センターの会議で承認をされたものに限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。</p> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 採用薬剤適正使用情報（Vol. 108～Vol. 136）の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は必要に応じて選択して配信。 2 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年155回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>[人工心肺装置及び補助装置] (10回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年4月17日, 5月9日, 13日~14日, 17日, 19日, 21日, 27日~28日, 31日 「UNIMOについて」 (UNIMOの使用方法・注意点) 東10階病棟 ・ 2021年4月20日~22日, 5月7日, 12日, 13日, 31日 「UNIMOについて」 (UNIMOの使用方法注意点) 西10階病棟 ・ 2021年5月26日 「人工心肺装置について」 (体外循環について) ME室 ・ 2022年2月18日 「麻酔科レジデントセミナー」 (人工心肺回路と各機能 他) 手術部 麻酔科控え室 ・ 2022年3月16日 「手術部Ns 人工心肺オリエンテーション」 (人工心肺装置の回路と機能 他) 手術部ラウンジ ・ 2021年5月31日 「V-V ECMO勉強会」 (V-V ECMOの循環・呼吸管理について 他) 医療人育成センター ・ 2021年6月23日 「PCPS勉強会」 (当院のPCPS装置について 他) 中央診療棟4Fカンファレンス室 ・ 2021年11月10日 「PCPS勉強会」 (当院のPCPS装置について 他) 中央診療棟4Fカンファレンス室 ・ 2022年1月28日 「UNIMO勉強会」 (UNIMOの使用方法・注意点 他) 高気圧酸素治療室 ・ 2022年3月16日 「手術部Ns 補助循環装置オリエンテーション」 (各補助循環装置の回路と機能 他) 手術部ラウンジ <p>[人工呼吸器] (12回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年5月12日 「人工呼吸器について」 (PB840VV+の使用方法と注意点) MEセンター ・ 2021年5月19日 「PB840VV+の使用方法について」 (PB840VV+の使用方法) 西10階病棟 処置室 ・ 2021年5月28日 「PB840VV+の使用方法について」 (PB840VV+の使用方法) 東4階病棟 処置室 ・ 2021年6月15日, 7月19日, 8月25日, 9月21日 「人工呼吸について」 (人工呼吸全般について) ICU内 ・ 2021年6月16日 「PB840VV+とトリロジーの違いについて」 (PB840VV+とトリロジーの違い) 東9階病棟 処置室 ・ 2021年7月7日, 7月9日 「在宅用人工呼吸器ASTRALの使用方法について」 (呼吸器を用いての説明) 東病棟10階処置室 ・ 2021年8月3日 「PB840VV+について」 (使用方法と注意点) 東6階病棟 ・ 2021年8月4日 「NPPVの使用方法について」 (NPPVの基本的操作と注意点) 西4階病棟 ナースステーション ・ 2021年8月27日 「トリロジーの使用方法について」 (操作方法とアラーム対応) 西4階病棟 ・ 2021年11月24日~12月24日 「人工呼吸器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点) Web ・ 2022年1月5日, 7日, 14日, 16日~17日, 19日~22日, 25日, 27日, 2月3日, 3月22日, 24日, 27日, 29日~30日 「人工呼吸器 PUPPY-X について」 (使用方法) 手術室, 血管撮影室, 血液浄化療法室, MEセンター, ICU ・ 2022年1月7日 「トリロジーについて」 (使用に関しての説明) 西6階病棟 <p>[血液浄化装置] (7回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年4月19日, 21日 「個人用RO装置TW-S導入研修会」 (使用方法と注意点) HCU (4008号室) ・ 2021年7月29日 「TR55Xの定期講習会」 (ICU・救命センター看護師(新人・部署異動者対象)) ICUカンファレンス室 ・ 2021年8月24日 「CHDF勉強会」 (ICUの異動者を対象) ICUカンファレンス室 ・ 2021年11月24日~12月24日 「血液浄化装置(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点) Web ・ 2021年12月16日 「透析勉強会」 (ICU・救命センター看護師(4月, 10月部署異動者)を対象) ICUカンファレンス室 ・ 2022年3月10日~11日 「透析勉強会」 (新しい医療機器導入事の研修会) 透析室 ・ 2022年3月29日 「水処理装置・特殊浄化」 (水処理装置について 他) 透析室 <p>[除細動器(AEDを除く)] (2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年5月7日, 12日, 6月4日~5日, 9日, 14日, 18日, 21日, 8月21日 「除細動器TEC-5631について」 (使用方法・注意点) OP室 ・ 2021年11月24日~12月24日 「除細動器(インシデントを防ぐために)」 (使用方法・注意点) Web 	

[閉鎖式保育器] (4回)

- ・2021年4月12日「閉鎖式保育器について」(使用方法・注意点) ME室
- ・2021年4月13日, 20日「Dual incu iについて」(使用方法・注意点) MEセンター
- ・2021年4月26日「Dual incu iについて」(使用方法・注意点) NICU
- ・2022年1月24日, 31日, 2月4日「閉鎖式保育器について」(使用方法・注意点) Web

[その他医療機器] (120回)

- ・2021年4月20日~23日, 27日「血液ガス分析装置新規導入研修」(取り扱い方法) 血管撮影室カフアリス室
- ・2021年4月21日「超広角走査型レーザー検眼鏡 取扱説明」(操作方法) 眼科外来
- ・2021年4月27日, 30日, 6月1日, 11日, 15日, 18日「電気メス勉強会」(使用方法 他) OP室
- ・2021年4月27日「筋電計MEM-8301取り扱いの研修」(使用方法と注意点) 耳鼻科外来
- ・2021年4月27日「医科用治療台 TR-83Jの取り扱い説明」(取り扱い) 皮膚科外来
- ・2021年4月27日~28日「ヘモスフィア説明会」(操作) ICU
- ・2021年4月28日, 30日, 6月1日, 11日, 15日, 18日「バイポーラ」(使用方法 他) OP室
- ・2021年5月7日, 6月4日, 7日, 13日, 17日「内視鏡タワー勉強会」(使用方法と注意点) OP室
- ・2021年5月7日, 6月4日, 10日, 13日~14日, 16日, 22日「AVI録画装置/顕微鏡ペンテロ」(使用方法 他) OP室
- ・2021年5月12日, 6月3日~4日, 6日, 9日, 11日, 18日「超音波メス勉強会」(ハーモニック・ソノサージの使用方法) OP室
- ・2021年5月13日, 6月4日~5日, 10日, 14日, 18日, 22日「ベッセルシーリングシステム勉強会」(準備・使用方法 他) OP室
- ・2021年5月24日, 26日「TEG6s説明会」(TEG6sについて) OP室
- ・2021年5月27日「ライトストライク説明会」(使用方法) NICU
- ・2021年5月27日「嚥下内視鏡USBカメラキット使用法説明会」(接続、記録、記録動画の扱い) 東2階病棟 摂食嚥下リハビリテーション室 他
- ・2021年6月1日, 4日, 13日, 18日~19日「麻酔器勉強会」(基本的な役割と注意点) OP室
- ・2021年6月4日, 7日, 12日, 17日~18日「超音波吸引装置勉強会」(準備・片付け方) OP室
- ・2021年6月8日「IMPELLA研修会」(ドライブオン) 血管撮影室, OP室
- ・2021年6月23日「IMPELLAについて」(使用方法・注意点) 手術部ME控え室
- ・2021年6月24日「Ambuエービュー取り扱いの研修」(使用方法と注意点) 救命センター
- ・2021年6月28日「超音波血流計 MiraQ Ultimate system」(使用方法と注意点) 臨床工学技士控え室 (Zoom併用)
- ・2021年6月28日~30日「新規装置Azurion7 B12取扱説明」(操作説明) 血管撮影室1
- ・2021年6月28日, 7月2日「IMPELLAについて」(使用方法・注意点) ICU カフアリス室
- ・2021年6月29日~30日「血管内超音波装置新規導入研修」(取り扱い) 血管撮影室1
- ・2021年6月29日~30日「エキシマレーザー装置新規導入研修」(取り扱い方法) 血管撮影室1
- ・2021年6月30日, 7月2日「プラズマブレード新規導入研修」(取り扱い方法) 血管撮影室カフアリス室
- ・2021年7月21日「イルミノックス研修会」(使用方法と注意点) 手術部ラウンジ
- ・2021年9月17日「ELVeSレーザー1470取り扱いの研修」(使用方法と注意点) 形成外科医局
- ・2021年9月30日, 10月1日「ELVeSレーザー1470について」(使用方法と注意点) 手術部ラウンジ
- ・2021年9月30日, 10月1日「ELVeSレーザー説明会」(取り扱い方法 他) 手術室
- ・2021年10月27日「内科外来処置室エコー使用説明会」(使用方法) 第2検討会室(病棟3F)
- ・2021年11月5日「分娩監視装置(ワイズ)の使用方法について」(操作方法等) 西5階病棟ナースステーション
- ・2021年11月11日「CUSA Clarityの使用方法と注意点について」(使用方法と注意点) 医局 他
- ・2021年11月11日~13日, 16日, 20日~21日, 12月9日, 24日「CUSA Clarityの使用方法と注意点について」(使用方法と注意点) 手術部 技士控え室
- ・2021年11月11日, 12日, 15日~20日, 22日, 24日~26日, 28日~30日「CUSA Clarityの使用方法と注意点について」(使用方法と注意点) OP室 他
- ・2021年12月1日「半導体レーザー取扱説明」(器械操作方法) 医局
- ・2021年12月7日「手持眼圧計取扱説明」(操作方法) 医局
- ・2021年12月9日~10日, 14日「放射線治療計画用CT更新に伴う研修」(使用方法) 放射線治療計画CT室
- ・2021年12月13日~14日, 16日「ピコセカンドKTP/Nd:YAGレーザー PicoWayの研修」(使用方法) 外来棟3階 皮膚科8診
- ・2021年12月16日「放射線治療CT用造影剤注入装置購入に伴う研修」(使用方法) 放射線治療計画CT室
- ・2021年12月20日~21日「新規骨密度測定装置の操作, 取扱説明」(使用方法 他) 骨密度測定室
- ・2021年12月22日~24日「COREVISION SD研修会」(取扱説明) 手術室
- ・2021年12月23日「ホルタ記録器導入説明会」(使用説明) 中央検査部 生理検査室
- ・2021年12月23日「ビデオ鼻咽頭スコープシステム説明会」(接続, 記録, 記録動画の扱い) 西病棟3階 第5検討会室
- ・2021年12月27日「NIM-Vital」(取り扱い説明 他) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局

- ・2022年1月5日「超音波画像診断装置取扱説明」(操作方法)東6階病棟
- ・2022年1月5日「前眼部光干渉断層計取扱説明」(操作方法)眼科外来
- ・2022年1月12日「波長掃引型光干渉断層計」(操作方法)眼科外来
- ・2022年1月11日～12日「IMPELLA CP SmartAssistの研修」(変更点)血管撮影室+ファルンス室
- ・2022年1月12日「光眼軸長測定装置取扱説明」(操作方法)眼科外来
- ・2022年1月12日「手持ち無散瞳眼底カメラ」(操作方法)眼科外来
- ・2022年1月13日「ワイヤレスエコーiViz airの研修」(使用方法)東11階病棟 処置室
- ・2022年1月14日～19日, 22日, 25日「誘発反応測定装置 NIM-Vitalについて」(取り扱い)手術部 技士控え室 他
- ・2022年1月15日, 2月17～20日「誘発反応測定装置 NIM-Vitalについて」(取り扱い)手術室
- ・2022年1月20日～21日, 23日～26日, 2月3日～4日, 7日, 16日, 20日, 22日, 26日, 3月2日～3日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)手術部, 血管撮影室, 血液浄化療法部, MEセンター
- ・2022年1月23日～28日, 2月1日～4日, 10日「誘発反応測定装置 NIM-Vitalについて」(取り扱い)手術室
- ・2022年1月24日, 2月9日, 12日～13日, 15日～17日, 20日～21日, 26日, 28日～3月3日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)手術部, 血管撮影室, 血液浄化療法部, MEセンター
- ・2022年1月26日, 28日「OER-5導入説明会」(操作方法)光学医療診療部
- ・2022年2月1日「IVES取り扱いの研修」(接続, 記録, 記録動画の扱い)作業療法室
- ・2022年2月1日, 5日, 11日, 14日, 16日～17日, 19日, 3月1日, 4日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)総合周産期母子医療センター 他
- ・2022年2月1日, 5日, 11日, 14日, 16日～17日, 19日, 3月1日, 4日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)総合周産期母子医療センター 他
- ・2022年2月2日～6日, 8日～9日, 14日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)救急外来 他
- ・2022年2月2日～6日, 8日～9日, 14日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)救急外来 他
- ・2022年2月3日～7日, 9日～11日, 13日, 15日, 17日～20日, 22日, 25日, 3月12日～13日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)西7階病棟 他
- ・2022年2月3日～7日, 9日～11日, 13日, 15日～20日, 22日, 25日, 3月13日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)西7階病棟 他
- ・2022年2月3日～4日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)光学医療診療部 他
- ・2022年2月3日～4日, 7日～8日, 10日, 17日～18日, 21日～22日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)外来・医科 他
- ・2022年2月3日「i-STATの研修」(使用方法と注意点)血管撮影室
- ・2022年2月3日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)光学医療診療部 他
- ・2022年2月4日～7日, 9日～10日, 12日, 16日～17日, 19日～21日, 26日～28日, 3月2日, 7日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)ICU 他
- ・2022年2月4日～8日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)ICU 他
- ・2022年2月4日～7日, 9日～12日, 17日～18日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)救命救急センター 他
- ・2022年2月4日～7日, 9日～12日, 16日～17日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)救命救急センター 他
- ・2022年2月4日, 7日, 8日, 10日, 17日, 22日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)外来・医科 他
- ・2022年2月4日～7日, 9日, 12日～13日, 16日, 28日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)西病棟5階 他
- ・2022年2月4日～6日, 8日～13日, 22日, 28日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)東5階病棟他
- ・2022年2月4日～6日, 8日～13日, 22日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)東5階病棟 他
- ・2022年2月4日～8日, 10日～12日, 14日, 16日～17日, 19日, 26日～27日, 3月2日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)東6階病棟 他
- ・2022年2月4日～8日, 10日～12日, 14日～17日, 19日, 26日, 3月2日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)東6階病棟 他
- ・2022年2月4日, 8日, 10日, 13日, 16日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)東7階病棟 他
- ・2022年2月4日, 8日, 10日, 13日, 16日, 20日～22日, 24日～25日, 27日～3月4日, 7日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)東7階病棟 他
- ・2022年2月4日～9日, 12日～13日, 16日, 28日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法)西5階病棟 他
- ・2022年2月4日, 10日, 20日, 22日, 25日～26日, 3月1日～2日, 4日, 6日, 11日, 18日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)西11階病棟 他
- ・2022年2月4日, 7日, 9日～10日, 15日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法)外来 他

- ・2022年2月4日, 7日, 9日~10日, 15日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 外来 他
- ・2022年2月4日, 10日, 15日, 25日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 通院治療室 他
- ・2022年2月5日~8日, 10日~12日, 14日, 16日, 26日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 西4階病棟 他
- ・2022年2月5日~8日, 10日~12日, 14日, 16日, 26日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 西4階病棟 他
- ・2022年2月5日~7日, 9日~11日, 14日~15日, 17日~18日, 23日, 28日, 3月4日, 14日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 西10階病棟 他
- ・2022年2月5日~7日, 9日~11日, 14日~15日, 17日~18日, 20日, 22日, 28日, 3月4日, 14日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 西10階病棟 他
- ・2022年2月6日~7日, 9日~12日, 15日, 17日, 19日~20日, 23日~25日, 27日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 東9階病棟 他
- ・2022年2月6日~7日, 9日~12日, 15日, 17日, 19日~20日, 23日~25日, 27日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 東9階病棟 他
- ・2022年2月6日, 10日, 12日~13日, 16日, 21日~25日, 27日, 3月2日, 4日, 7日, 10日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 東10階病棟 他
- ・2022年2月6日~13日, 16日, 21日, 26日, 3月3日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 放射線部 他
- ・2022年2月7日「オージオメーターAA-H1使用説明」(取扱) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来17診察室
- ・2022年2月7日~9日, 11日, 13日~15日, 19日, 21日~25日, 27日, 3月8日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 東3階病棟 他
- ・2022年2月7日~9日, 11日~15日, 19日, 21日~25日, 27日, 3月8日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 東3階病棟 他
- ・2022年2月8日~10日, 13日, 17日~18日, 20日~25日, 28日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 西9階病棟 他
- ・2022年2月8日~10日, 13日, 17日~21日, 23日~25日, 28日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 西9階病棟 他
- ・2022年2月8日, 10日, 23日~26日, 28日, 3月6日, 10日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 東4階病棟 他
- ・2022年2月8日~13日, 17日, 19日~22日, 25日~3月1日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 東11階病棟 他
- ・2022年2月8日, 10日, 23日~24日, 26日, 28日, 3月6日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 東4階病棟 他
- ・2022年2月8日~13日, 17日, 19日~21日, 25日~3月1日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 東11階病棟 他
- ・2022年2月9日「PicoWay取り扱いの研修」(使用方法と注意点) 形成外科医局
- ・2022年2月10日~16日, 18日~20日, 24日~25日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 西8階病棟 他
- ・2022年2月10日~16日, 18日~21日, 24日~25日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 西8階病棟 他
- ・2022年2月10日, 13日, 20日, 22日, 25日, 3月1日~2日, 4日, 6日, 9日, 11日, 18日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 西11階病棟 他
- ・2022年2月10日, 12日~13日, 16日, 21日~23日, 25日, 27日, 3月2日, 7日, 10日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 東10階病棟 他
- ・2022年2月11日, 14日, 16日, 23日, 28日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 血液浄化療法部 他
- ・2022年2月11日, 14日, 16日, 21日, 28日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 血液浄化療法部 他
- ・2022年2月14日, 22日「経腸栄養ポンプ Amika について」(使用方法) 通院治療室 他
- ・2022年2月15日「24時間胃食道内pH&インピーダンスモニター スレウス・ゼファーの研修」(操作) 内視鏡室
- ・2022年2月17日「ポケットエコーmirucoの使用説明」(使用説明) Web
- ・2022年2月18日, 21日~23日, 28日, 3月2日, 4日, 6日~8日, 10日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 麻酔科室内 他
- ・2022年2月22日, 25日~3月3日, 3月5日~15日, 17日, 19日, 22日, 25日, 28日「輸液ポンプ TE-281N について」(使用方法) 手術部受付 他
- ・2022年3月2日「内視鏡システム取り扱いの研修」(使用方法と注意点) 放射線診察室
- ・2022年3月3日, 10日「脳波計導入説明会」(使用説明) 総合周産期母子医療センター
- ・2022年3月4日, 7日~8日「血液ガス分析装置ABL9の取り扱い説明」(取り扱い説明) 西5階病棟
- ・2022年3月8日「超音波画像診断装置 説明会」(使用説明) 高次救命災害治療センター
- ・2022年3月16日「経皮的血液ガスモニタweb説明会」(使用説明) 西9階病棟 他
- ・2022年3月17日「筋電図・誘発電位検査装置の説明」(取り扱い説明) 内科外来30診

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :

医療機器 (人工心肺装置, 補助循環装置, 人工呼吸器, 血液浄化装置, 除細動器, 閉鎖式保育器, 診療用高エネルギー放射線発生装置, 放射線照射装置, CTエックス線装置, 磁気共鳴画像診断装置, 麻酔器, 眼内内視鏡, 歯科ユニット, 高気圧酸素治療装置, ダヴィンチ, 12誘導心電計, 超音波画像診断装置 など) に関し保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の他職種により構成される委員会 (委員長: 医療機器安全管理責任者) にて評価を受ける。

※保守点検計画書には, 医療機器名, 製造販売業者名, 型式, 保守点検を実施する予定の時期, 間隔, 条件等を記載。また, 機器台帳にて修理履歴を保管

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) :

病院長を委員長とした“新規医療技術等管理センター”にて検討を行うことになっている。また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知、並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。また、院内webサーバーにも掲載し院内に情報を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者の資格（医師・歯科医師） 医師 ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理部長として、院内の医療安全に関する管理部門を統括する。 2 医療の安全管理体制の確保及び推進や、重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療安全管理委員会の構成員であり運営を統括する。 3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務、医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務、さらに、診療放射線の安全利用のための体制確保として医療放射線安全管理責任者の実施業務に関し、それぞれ各専門部会の構成員となり、各責任者の業務を統括する。 	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告 2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知 3 全部署のリスクマネージャーが出席するリスクマネージャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネージャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握 2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案 3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有 ・ 担当者の指名の有無（有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ） 	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （有・無） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。 	

2 インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為、同席を要する医療行為等の規定を定めている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

- ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
 - 1 診療録監査委員会内規に基づき、年2回診療録監査を実施し、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・ 所属職員：専従（4）名、専任（0）名、兼任（21）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（14）名
 - うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名
 - うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・ 活動の主な内容：
 - 1 医療安全管理委員会に係る運営及び事務
 - 2 アクシデント又は病院長が必要と認める事象（以下「事象等」という。）が発生した場合は、事象等に係る次に掲げる事項
 - イ 診療録その他診療に関する記録の確認
 - ロ 患者又はその家族への説明
 - ハ 発生原因の究明
 - ニ その他対応状況の確認
 - ホ 職員に対する必要な指導
 - 3 医療の安全管理に係る教育、研修及び連絡調整
 - 4 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進
 - 5 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認
 - 6 医事紛争及び医療訴訟の対応
 - 7 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録
 - 8 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録
 - 9 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務
 - 10 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項

《モニタリング項目》

- 1 周術期肺血栓塞栓症
 - ① 手術症例 DVT/PTE 予防アセスメント施行率
 - ② 手術例における肺血栓塞栓症予防管理料算定率
 - ③ 1万手術あたり周術期肺血栓塞栓症発生率
- 2 入院患者の転倒転落
 - ① 入院患者1,000人日あたり転倒・転落発生率
 - ② 入院患者1,000人日あたり転倒・転落発生後外傷（レベル3a以上）発生率
- 3 中心静脈カテーテル挿入（とくに挿入時の医原性気胸）
 - ① 中心静脈カテーテル穿刺挿入報告書提出率
 - ② 内頸静脈穿刺における気胸発生率
 - ③ 鎖骨下静脈穿刺における気胸発生率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 12 件）、及び許可件数（ 8 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：
 - 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 26 件）、及び許可件数（ 25 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：
 - 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 440 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 136 件（事例数。報告件数は 154 件）

<ul style="list-style-type: none"> ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（ <input checked="" type="checkbox"/>（病院名：富山大学附属病院） ・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ <input checked="" type="checkbox"/>（病院名：金沢大学附属病院） ・無） ・技術的助言の実施状況 <p>適切に実施されていると評価されたため、特段の指摘事項はなかった。 質問事項は以下のとおり（一部抜粋）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止した高難度技術の再開にあたり、診療科またはハートチームで再検討するとなっていました。この場合におけるハートチームの果たす役割について教えてください。
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <p>患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。</p>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <p>令和3年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。</p>
--

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <p>管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和3年度特定機能病院管理者研修を受講した。</p>

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・第三者による評価の受審状況
公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を書類審査及び令和元年11月27日～29日訪問審査を受審し、令和3年1月4日付けで認定証の交付を受けた。

認定期間 2019年12月20日～2024年12月19日

認定発行日 令和3年1月4日

認定病院種別及び番号

主たる機能：一般病院3 認定第GB146-5号

副機能：精神科病院認定第GB146号

- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
なし
- ・評価を踏まえ講じた措置
なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること
2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者
 - ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者
 - ② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者（当該病院内外での組織管理経験が含まれること。）
 - ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者
3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者
 - ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者
 - ② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
澤村 明	新潟大学 理事・副 学長	○	学長が指名する理事 (選考委員会規程第3条第1号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
土田 正則	新潟大学 医歯学 総合病院 副病 院長		学長が指名する医科系運営会議及び歯 科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
多部田 康一	新潟大学 医歯学 総合病院 副病 院長		学長が指名する医科系運営会議及び歯 科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
福地 健郎	新潟大学 医歯学 系 教授		学長が指名する医科系運営会議及び歯 科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
染矢 俊幸	新潟大学 医学部 長		学長が指名する医歯学総合病院運営協 議会委員のうち新潟大学に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
前田 健康	新潟大学 歯学部 長		学長が指名する医歯学総合病院運営協 議会委員のうち新潟大学に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究 所長		学長が指名する医歯学総合病院運営協 議会委員のうち新潟大学に所属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟 県医師会 会長		学外の有識者：県医師会長として、医療 ・保健・福祉全般に豊富な知見を有する (選考委員会規程第3条第4号)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松本 晴樹	新潟県福祉保健部 部長		学外の有識者：県の医療に係る担当者と して、医療・保健・福祉全般に豊富な知 見を有する(選考委員会規程第3条第4 号)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無（平成30年10月1日施行）	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> ・医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項 ・病院の中期目標・中期計画に関する事項 ・病院の予算及び決算に関する事項 ・病院の教員の選考に関する事項 ・病院の組織に関する重要事項 ・病院の教育・研究及び診療に関する重要事項 ・その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> ・医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。 ・院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・<input type="checkbox"/>無 ） 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
多部田 康一		歯科医師	副病院長
猪又 孝元		医師	副病院長
井上 誠		歯科医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部 真一		医師	副病院長
菊地 利明		医師	副病院長
杉田 洋子		看護師	副病院長・看護部長
前島 一実		事務職員	副病院長・事務部長
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐
川島 寛之		医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	診療支援部長
小野寺 理		医師	病院長特別補佐

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容
新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第13条により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長特別補佐、病院長補佐を置くことができることを規定。
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究・医療連携）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全管理」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。
病院長特別補佐の役割は、病院の管理運営に関し、病院長に助言等を行うものとする。また病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」「医療連携全般」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、医療放射線安全管理責任者の業務、及びその医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法： 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所 長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
佐藤 信昭	新潟県立がんセンター新潟病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三部 正歳	りゅーと法律 務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
西田 眞吾	新潟大学理事		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
田代 文俊	新潟大学監事		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。

・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。 ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）（ 年 1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：新潟大学医歯学総合病院運営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
澤村 明	新潟大学 理事・副学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
染矢 俊幸	新潟大学 医学部長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
前田 健康	新潟大学 歯学部長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究所長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟県医師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松本 晴樹	新潟県福祉保健部 部長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
荻野 構一	公益社団法人新潟県薬剤師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
鈴木 幸雄	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部 部長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
河原 和夫	医療法人社団 崎陽会 日の出ヶ丘病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (・ 無)
- ・ 通報件数 (年0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (・ 無)
- ・ 周知の方法
 - ・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
 - ・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信の方法、内容等の概要<ul style="list-style-type: none">・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。また、本院ホームページにおいて、閲覧者が見やすく、分かりやすい掲載にリニューアルを予定している。・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<ul style="list-style-type: none">・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「キャンサーボード」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	